

わたしを生きる

— アイデンティティと尊厳 —



わたしを生きる

—— アイデンティティと尊厳 ——

CONTENTS (目次)

発刊にあたって	1
冊子の構成と使い方	1
論文『アイデンティティとカミングアウトについて～この冊子の活用に必要な基礎知識～』	2
用語解説	4
学習プログラム	
■関係性の中に生きるわたし	6
■自分のセクシュアリティを考えよう	14
■名まえ、それぞれの選択	25
■告げることから	36
論文『アイデンティティとカミングアウト～自己・他者・社会との関わりのなかで～』	48
人権学習シリーズの紹介	

発刊にあたって

人権学習シリーズvol.8「わたしを生きる－アイデンティティと尊厳－」では、「自分」、「人間関係」、「尊厳」という3つの人権概念を取り上げ、わたしたちの身近なところから人権問題を考えていきます。

自分のルーツや身体、社会的立場なども含め、自分自身を認め、自分自身のアイデンティティ（これを欠いては自分ではないと思う属性や特性）を肯定的に受け止めることができることにより、自分を大切に思うことができます（人権概念「自分」）。また、他者との関係の中で、自分のアイデンティティを伝えることができ、かつ、それが共感的理解のもと適切に受け入れられたとき、安定した自尊感情と良好な人間関係が育まれます。逆に、人権に関わる事柄が社会では理解されず、なかなか受け入れられなかったり、時には差別や排除になったりすると、人権侵害につながります（人権概念「人間関係」）。このように、自分が大切にしていることを公表し、それが適切に受け止められるという、お互いの中にある違いを認めあえる関係作りの過程こそが、人権尊重の社会づくりの基礎となります。そしてそれは、人間を個人として尊重することにつながります（人権概念「尊厳」）。

この3つの概念を考えるテーマとして、「カミングアウト」（公にしていない自分のルーツや身体のこと、社会的立場などを公にすること）を切り口としながら、自分自身のアイデンティティを考え、それを他者に伝えることの意味を考えます。そして、他者からカミングアウトされたとき、それをきちんと受け止め、自分の問題として関われる力を育むことを目標としています。

自分の社会的背景を気にせず、ありのままに自分のことを誰かに語ることができる。
伝えられた側は、それを適切に受け止めることができ、そこから新たな関係が育める。
本書が、そんな社会づくりの一助になることを願っています。



■ 冊子の構成と使い方

◆構成◆

プログラムの時間はすべて90分で、導入からまとめまでを入れた構成となっています。プログラム「関係性の中に生きるわたし」は、アイデンティティを他者や社会との関わりの中から考え、どのようなアイデンティティも尊重されるにはどうしたらよいかを考えます。各個人権課題から考えるものとして「自分のセクシュアリティを考えよう」では性的マイノリティの問題を、「名まえ、それぞれの選択」では在日外国人問題を、「告げることから」では同和問題から考える内容となっています。

また、人権概念を考える切り口として、「アイデンティティ」「カミングアウト」についての論文を掲載し、プログラムを進める上での基礎知識を学べるようにしています。

◆プログラムの表記◆

- 【時間】** そのアクティビティの所要時間と、1つのアクティビティの中での活動ごとの所要時間、アクティビティの積算時間が書かれています。
- 【ねらい】** なぜそのプログラムを提供し、なにを考えてもらうかが書かれています。
- 【キーワード】** そのプログラムで学んでほしい内容が簡潔に書かれています。
- 【準備物】** そのプログラムを実施する上で必要なものを示しています。
- 【プログラムの流れ】** プログラムを構成するアクティビティ名とその概要と所要時間を紹介し、90分のプログラムの流れをつかんでいただきます。
- 【詳細な手順】** 「」は、ファシリテーターの話す内容を、「」は、ファシリテーターの動きが書かれています。
- 【ポイント】** アクティビティを進める上での補足説明、会場の形や板書の例、予測される参加者の反応とそこへの対応、ファシリテーターへの助言などが書かれていますので参考にしてください。
- 【ワークシート、資料】** 参加者に配るワークシート、資料などをそのままコピーして使ってもらえるように掲載しています。

アイデンティティとカミングアウトについて

～この冊子の活用に必要な基礎知識～

大阪教育大学 森 実

はじめに

この冊子では、「尊厳」、「自分」、「人間関係」を大きなテーマとし、カミングアウトを切り口にして、アイデンティティという概念にもふれています。

そこで、この冊子を読み進め、活動を実施する上で必要と思われる範囲で、簡単にこのことについて述べておきましょう。詳しくは、P48に入れた「アイデンティティとカミングアウト～自己・他者・社会との関わりのなかで～」という文章をお読みください。

[1] アイデンティティとは？

アイデンティティとは、「これを欠いては自分ではないと思う属性や特性」をさします。

その1つは、自分がどんなルーツをもっており、どんな集団に属しているかということに関わります。たとえば、「オレは男だ」とか、「わたしは大阪人だ」という感覚です。アイデンティティという言葉を使う場合、この属性が自分にとって重要だということを意味しています。言い換えると、尊厳や誇りの源になっているということです。この冊子でいうアイデンティティはこちらの意味です。

アイデンティティのもう1つの意味は、趣味や好みなどに関わります。「わたしの趣味は読書です」とか「私は優しい人間です」などで、「自分らしさ」ともいえます。

アイデンティティというのは、多くの場合、幼い頃から、周りの人たちの言葉や仕草などを通して、空気を吸うように感じ取っていくものです。そして、思春期になるころから、次第にそれを自覚的に受け止めるようになります。

青年期になると、とくに被差別集団に属する人のなかには、「なんで〇〇に生まれたんだらう」と自分のアイデンティティを否定的にとらえてしまう人たちが出てきます。しかし、その思いを覆すような出会いや学習があれば、次第に自己を肯定するようになっていきます。人権学習の場がそのような変化をうながすきっかけになることをめざしたいものです。

[2] カミングアウトとはなにか？

カミングアウトとは、明かしていなかった自分のアイデンティティを他の人に告げることです。短くカムアウトと言うときもあります。これは、もともと「カミングアウト・オブ・ザ・クロゼットComing out of the closet（押し入れの中から出てくること）」と表現されていました。「押し入れの中に閉じこめられているような状態」から、隠していた面を他者や社会全体に向けてさし出していくという意味です。

カミングアウトで最も大切にされるべきことは、周りに強いられて行う筋合いのものではないということです。本人が言う必要がないと感じている場面でカミングアウトする必要はまったくないのです。周りの人たちの働きかけは本人が判断する手がかりになるなどの域を出ません。

[3] 現代的プライバシー観とアウトティング

その点を考える上で、プライバシーのとらえ方が参考になります。現在では、プライバシー権は、「自分に関する情報を自分でコントロールする権利」とされています。昔なら、プライバシー権は「私生活に踏み込まれない権利」を意味していました。しかし、情報化が進むなかで、どこまでどうすることが私生活に踏み込むことなのか、一律に決めることができなくなりました。他の人の名前を出すだけでもプライバシーの侵害だという場合があります。

そこで、OECDが1980年(昭和55年)にプライバシー 8原則を打ち立てました。その基本原則が「自分に関する情報を自分でコントロールする権利」という考え方です。この原則に立てば、他者に関するなんらかの情報を伝える前に、本人の了解を得ておかなければならないということになります。個人情報保護法もこの考え方を土台にしています。

アウトティングとは、そんな手続きをとらずに、勝手に他の人に関する情報を他者に伝えることを意味しています。現代的なプライバシーの考え方に立つと、許されない行為であることが明らかです。

[4] カミングアウトするのはなぜ? しないのはなぜ?

誰かがカミングアウトするかどうかを左右するいくつもの要因があります。

第1は、世の中がその人のアイデンティティのもとになる属性をどう見ているかという問題です。世の中がそのアイデンティティを否定的にさげすんで見ているなら、カミングアウトはなんらかの意味でしにくくなりやすいでしょう。

第2には、世の中がどう見ようと、本人が自分のそのアイデンティティをどう見ているのかということです。世の中が否定的に見ている属性について、自分自身でも否定的に感じている場合には、カミングアウトには至らないことが多いでしょう。世の中が否定的に見ていても、自分が肯定的に見ているなら、カミングアウトしやすいと推測できます。

第3に、上の2つとは別に、今、周りにいる人たちがどんな価値観をもっているのか、その人たちとどんな関係にあるのかという問題があります。周りの人たちとの関係は、カミングアウトするかどうかを左右する決定的な要素になりえます。カミングアウトする人が「支えてほしい」と思っている場合であれ、「問題をしっかりとらえて自分に引きつけて考えてほしい」と考えている場合であれ、その聴き手がどんな人であるかは抜きにできません。世の中がそのアイデンティティを否定的にとらえていて、本人もまだためらいがあるという場合であっても、周りの人たちが、そのことを受け止められる状態であれば、本人は語るかもしれないのです。人権学習で求められているもう1つの課題は、この意味で、周りにいる者としてのわたしたちが、話しやすい関係をつくらせているかということです。その集団の一員である自分が、いろいろな人にとって居心地のいい居場所づくり、社会づくりに貢献できているのかということです。

[5] カミングアウトから深まる人間関係、変わる社会

カミングアウトしたことによって、本人と相手の関係が大きく変わっていく場合があります。受け止める側の姿勢や誠実さによって、カミングアウトした人の暮らしやすさは全く違ってきます。両者の関係も、豊かで深まりを見せるようになります。カミングアウトとは、そういう新しい関係が生まれる可能性を秘めています。両者の努力と誠実さによって、そうなるかどうか左右されるのです。その経験の蓄積が社会を変えることにもつながっていくことでしょう。

用語解説

●ワークショップ

ワークショップ(workshop)とは、もともと「職場」「作業所」「工房」を意味し、みんなで意見交換や共同作業を行いながら進める「参加体験型」学習のことをいいます。指導・被指導の関係で学ぶ学習でなく、参加者が積極的に他者の意見や発想から“学びあい”、最後にみんなで自らの“ふりかえり”をするという、学習のプロセスでの学びを大切にします。問題解決を図るとともに、態度や技能(スキル)を身につけられるという特徴があります。

●ファシリテーター

ワークショップを進行する人をファシリテーター (facilitator)と呼んでいます。単に進行役といってもよいのですが、「活性化させる」という意味を持つファシリテーターの方が、実際に期待されている役割に近い言葉になっています。話し合いの交通整理をする議長役だけでなく、話し合いの素材になるものを用意し、そして時間管理を行いながら全体を進行する役目をするなど、さまざまな複合的な能力が必要とされています。

●プログラム

ワークショップ全体としての目的やねらいを達成するために、アクティビティや講義などを組みあわせてつくる1つの流れです。学習を進めていくうえでの具体的なプロセスを示しています。

●アクティビティ

アクティビティとは、1つの素材、話し合いの材料を使ったまとまりのある学習活動のことで、プログラムを構成する1つの部品の役目をしています。

●ロールプレイ

「ロール」は役割、「プレイ」は演技の意味で、学習の内容に応じた場面(シチュエーション)を設定し、その中で参加者が役割(話し手・聞き手・観察者など)を持って演技することにより、学習目的に迫る方法です。現実の問題を模擬的に演じることにより、自分の心を感情のままに自由に表現することができ、人間関係の改善などに迫ることができます。人権に関する学習では、実際に経験したことがない場合でも、「差別」「いじめ」などの場面を設定して実施することにより、他者の立場に立って考えたり感じたりすることができ、共感的な理解を図ることができます。

学習プログラム

関係性の中に生きるわたし

自分のセクシュアリティを考えよう

名まえ、それぞれの選択

告げることから



関係性の中に生きるわたし

ねらい ▶▶

- 自分のアイデンティティを他者や社会との関わりの中でとらえ、その多面性に気づく。
- アイデンティティとは、その人に固有の大切なものであるが、社会の中では必ずしもすべてが同じように尊重されていないことを知り、どんなアイデンティティも尊重されるにはどうしたらよいかを考える。

キーワード

アイデンティティ、多様性、関係性、尊重、自己肯定

準備物

- 歌詞カード ● アイデンティティ・カード (切り離しておく) グループに1セット
- マーカー 1人1本 ● ふせん紙 1人10枚程度 ● もぞう紙 (1/2サイズ) グループに1枚
- A4白紙 グループに3枚 ● ホワイトボードと専用マーカー (黒板も可)

プログラムの流れ

- 5分** 1. 趣旨とルールの説明 ● ねらいの説明など。
- 20分** 2. ペアで自己紹介・他己紹介 ● 自己紹介と導入。
- 25分** 3. 関係性の中に生きるわたし ● 自分のアイデンティティを他者や社会との関わりからふりかえる。
- 25分** 4. このアイデンティティは言いやすい? ● さまざまなアイデンティティの要素が社会の中でどう扱われているかを整理する。
- 15分** 5. みんなのアイデンティティが大切にされるために ● よりよい社会をつくるためになにができるかを考える。

時間

詳細な手順

ポイント

スタート

1 趣旨とルールの説明

5分

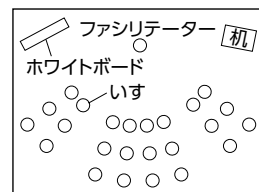


今日はワークショップ形式で学んでいきます。ワークショップというのは、講師が答えを持っているのではなく、参加者のみなさんがやりとりしながら、考えを深めていく学び方です。

人権というと、難しく思われる方も多かもしれませんが、できるだけ身近なところから考えていきたいと思っています。正解があるわけではありません。みなさんには、ふだんの言葉で、自分の思うことをおしゃべりしていただければと思います。

会場設営の例

[半円形]



※会場の形は、アクティビティによって変えやすいよう、机なし、イスのみで設営しておく。机は後で使うときに出しやすいよう、横に置いておくとうい。

そのために、3つ、お願いがあります。この場では、「協力・尊重・守秘」をルール(約束)としたいのです。

●「協力」「尊重」「守秘」と板書する。



「協力」とは、おたがいに学ぶために協力しましょう、ということ。「尊重」とは、それぞれのあり方や意見・思いを尊重しましょう、ということ。「守秘」とは、ここで出された個人の経験や考えはこの場にとどめる(外に持ち出さない)、ということです。

今日は、自分自身のアイデンティティについてふりかえります。アイデンティティというと、その人の“内面”のことと思われる方もあるかもしれませんが、他者や社会との関係性から考えてみたいと思います。

5分
経過

2 ペアで自己紹介・他己紹介

20分

席替えと項目検討5分、自己紹介&インタビュー 3分(@1.5分×2回)、
移動と他己紹介7分、全体共有5分

2人組を作る(席替え)



はじめに、ペアになって自己紹介をします。近くの方と2人組を作ってください。お知り合いの方と近くに座っている場合は、少し移動して、あまり知らない方と組んだ方が照れくさくないかもしれません。

個人で自己紹介の項目・内容を考える



自己紹介の前に、まずは、なにを話そうか、考える時間をとります。あわせて、相手にどんなことを聞いてみたいかを考えてみましょう。1分ほど時間をとります。

10分
経過

自己紹介をする



では、自己紹介をはじめます。3分程度とるので、おたがい自己紹介をしてください。先ほど考えたことにそって、質問をしていただいてもかまいません。1分半たったら声をかけるので、2人ともが話せるように、交代しながら知り合ってください。

4人グループを作り他己紹介をする



おたがい、知り合うことができたでしょうか。こんどは、今のペアが2つ一緒になって、4人のグループを作ってください。そのグループの中で“他己紹介”をしたいと思います。他己紹介とは、自分で自分のことを紹介するのではなく、先ほどのペアの方に自分のことを紹介してもらったりやり方です。紹介してもらっている間は、「さっきの自己紹介で、わたしのことをこんなふうに受け止められたんだな」と思いながらだまって聞いておいてください。1人30秒ずつで交代します。全員が終わったら、補足・修正や、感想を話し合ってください。では、はじめましょう。

●30秒ごとに声をかける。

・時間に余裕がある場合は、円形などに席替えするとよい。

・参加者数が奇数の場合は3人組を1組作り、時間を少し長めにとる。

・ペアが奇数組ある場合は、3組6人のグループをつくる。



自分自身でイメージしている自分と、他己紹介で話された自分は、よく一致していたでしょうか。それともずいぶん違ったでしょうか。

20分
経過

グループで話した内容を全体で共有する



自己紹介・他己紹介をやってみて、どうだったでしょうか。グループで話したことを共有していただけますか。

●感想を数人から発表してもらおう。



自分で話す自分のことと、他の人が自分のことを紹介しているのと、ずいぶん違うと感じられた方もあるかもしれません。これは、どちらが「正しい」というのではなく、相手にはあなたがそのように見えた・感じられた、ということであり、それもあなたの一部なのです。「わたし」というのは、自分の内側で確かめるだけでなく、他者との関わりの中にあらわれてくるものもあるのではないのでしょうか。

- 何人かに発表してもらい、適宜コメントする。発表は何人かでよい。

25分
経過

3 関係性の中に生きるわたし

25分

説明4分、ふせん書き出し5分、グループで分類5分、個人のふりかえりとグループで分かち合い6分、全体共有5分

自分の肩書き・立場を書き出す



「わたし」は関係性のなかでさまざまな側面をもっています。例えばわたしは今、みなさんの前では講師ですが家に帰れば、○○であり、実家に帰れば○○、職場に行けば○○という肩書きがあります。



このように、その場の関係性によって、1人の人にもさまざまな側面があります。では、自分の場合にはどのような側面や肩書き、立場があるか、考えてみましょう。ふせん紙を配るので、思いついたものをできるだけたくさん書き出してみてください。ここは、個人作業ですが、後でグループで出し合うので、書くのは共有してもいいと思うものだけでかまいません。

●グループごとに机を出してもらい、ふせん紙・マーカーを配付する。

- 先ほどの4人グループで続ける。

- ファシリテーターの言葉 ○○は、自分にあてはまるものを入れる。
- さまざまな側面をもつ紹介として、P11にある歌詞カードを提示し、紹介するとわかりやすい。
- 歌を知っていれば歌ってもよい。
- 書き出すときは、1枚に1項目、マーカーなど見やすい筆記具で書く。

- このプログラムを実施する前に、ファシリテーター自身もやってみること。

34分
経過

グループで共有と分類をする



書き出したものをグループで共有しながら分類してみましょう。分類したら、まとまりごとに名前(カテゴリー)をつけてみてください。

●ふせん紙を貼るもぞう紙をグループに配付する。

- カテゴリーの例としては、「職業」「家族関係」「性別」「世代」など。

39分
経過

自分の中やグループでふりかえりをする



共有できたでしょうか。分類は、きっちりできていなくてもかまいません。他の人が書かれたものを見て、自分は書かなかつたけれど「わたしの場合はどうなるかな」と考えた側面はあったでしょうか。

いろんな側面をカテゴリーとして分類していただいたわけですが、ここで少しふりかえてみましょう。自分自身の中で、日ごろ意識することが多い／少ない(または強く意識している／あまり意識していない)側面(カテゴリー)はどれでしょうか。他者に対して、表現しやすい／しにくいカテゴリーはどれでしょうか。共有するという前提で書いていただいたので、自分の中では意識しているけれど、人に気軽に言うのはためらう、というようなものもあるかもしれません。少し、自分の中でふりかえる時間をとります。

先ほどのグループ作業や、今の自分の中でのふりかえたことで、気づいたことや感じたことを、グループで分かち合しましょう。

45分
経過

全体で共有する



全体に発表してもいいものがあれば、お願いします。

- 数人から発表してもらおう。

50分
経過

4 このアイデンティティは言いやすい?

25分

説明2分、並べかえ作業8分、話し合い7分、全体共有8分



先ほどあげていただいたカテゴリーは、アイデンティティともつながっています。アイデンティティというのは、うまく訳しきれない言葉ですが、その人をその人らしく形作っている要素、とでも言ったらよいでしょうか。その人を構成しているとても大切なものです。けれど、現実の社会の中では、その項目によって表明しやすかったりしにくかったりします。

アイデンティティ・カードを並べる



具体的に考えてみましょう。お配りするの、さまざまなアイデンティティの項目が書かれたカードです。

グループで話し合っ、右側に表明しやすいもの、左側に表明しにくいものを並べてみてください。もちろん、人によって考え方はさまざまなので、位置をはっきり決めるのは難しいと思いますが、どのように考えるのかを出し合ってみましょう。

- もぞう紙とアイデンティティ・カードをグループに1セットずつ配付する。

- 左右にきっちり並べなくても、真ん中あたりもあってよい。ただし、なんでも真ん中にならないように注意する。

60分
経過

「表明のしやすさ／しにくさ」に影響しているものについて考える



「表明しやすい／しにくい」で並べてみてもらいましたが、「表明できるほうがよい」「表明しなくてはならない」ではない、ということは、確認しておきたいと思います。そのうえで、みなさんに考えていただきたいのは、「表明のしやすさ／しにくさ」に影響しているものはなにか、ということです。影響しているものとしてあげられるのはどんなことでしょうか。また、自分のアイデンティティなのに、自分の中で大事に思えない、否定的に感じてしまうこともあります。その人を形作る大切なものはずなのに、なぜそんなことが起こるのでしょうか。グループで話し合ってみてください。

- 話し合いの時間をとる。



話し合っていたいただいたことを、発表していただけますか。

- グループから発表してもらおう。

75分
経過

5 みんなのアイデンティティが大切にされるために

15分

説明2分、グループの話し合い6分、全体共有7分

現状の問題点と改善のアイデアを考える



アイデンティティは個人のもですが、そのあり方・受けとめ方は、まわりの人との関わりや社会に強く影響されています。自分のアイデンティティを肯定的に思えないというのは、とてもしんどいことです。すべての人のアイデンティティが大切にされ、傷つけられないために、どのような関係性・コミュニティのあり方が望ましいでしょうか。現状でいちばん問題だと思うことを3つあげて、それに対する改善のアイデアを考えてください。

- 各グループにA4白紙を3枚配付し、記入してもらおう。



では、グループで考えたものを前に貼りだしましょう。

- グループで記入した紙をホワイトボードに貼りだし、読みあげる。



ここにあげられたものを、これからの日常の中で、ぜひ実践していきましょう。

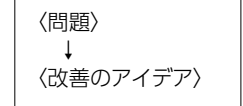
今日は参加していただき、ありがとうございました。

83分
経過

全体で共有する

- 書き方は、A4の紙1枚に1つの問題と改善のアイデアを書く。

例



- 後で前に貼るので、マーカーを使い大きな字で書いてもらう。
- 適宜、グループに質問して補足説明をしてもらう。

■歌詞カード

ぼくのおとうさん

(作詞：佐藤雅彦・内野真澄、作曲・歌：栗原正己)

教材(冊子)には歌詞を掲載していますが、著作権の関係でホームページ上では掲載しておりません。
なお、この歌詞カードを使わなくても、ワークショップを進めることができます。

※複製は禁じられていますので、本から切りとって使ってください。
また、無断で転載することは禁じられています。



アイデンティティ・カード

時間や参加者の状況に応じて項目を選び、適宜拡大して点線を切り取って配付してください（左側の列は配付不要です）。

職業・経済状況など	会社員(正社員)〈就労形態〉	派遣社員(就労形態)	フリーター(就労形態)
	無職(職業)	公務員(職業)	自営業(職業)
	ホワイトカラー(事務系)〈職種〉	ブルーカラー(肉体労働)〈職種〉	ピンクカラー(看護師、保育士などケア職)〈職種〉
	年収100万円〈収入〉	年収400万円台(給与所得者の平均年収程度)〈収入〉	年収1000万円以上〈収入〉
	持家(住まい)	賃貸住宅(住まい)	市営住宅(住まい)
家族関係	4年制大学卒〈学歴〉	高校卒業(学歴)	高校中退(学歴)
	未婚(婚姻)	既婚(婚姻)	離婚経験あり(婚姻)
	ひとりっ子(きょうだい)	長男・長女(きょうだい)	末っ子(きょうだい)
	ひとり親育ち(成育環境)	両親と子どもの世帯育ち(成育環境)	3世代大家族育ち(成育環境)
国籍など	子どもあり(子ども)	子どもなし(子ども)	
	日本国籍(国籍)	アメリカ国籍(国籍)	中国国籍(国籍)
信条など	大阪出身(出身地)	東京出身(出身地)	
	読書(趣味)	フィギュア集め(趣味)	
	異性愛(性指向)	同性愛(性指向)	
身体など	仏教徒(信仰)	キリスト教徒(信仰)	イスラム教徒(信仰)
	身体障がい(障がい)	精神障がい(障がい)	発達障がい(障がい)
	糖尿病(持病)	HIVキャリア(持病)	持病なし(持病)
	食べ物に好き嫌いなし(食習慣)	偏食(食習慣)	ベジタリアン(食習慣)
	血液型:A型(血液型)	血液型:B型(血液型)	血液型:Rhマイナス(血液型)

上記のカードの中には、アイデンティティとはいえないと思われるものがあるかもしれませんが、ひろく自分自身にかかわる要素という意味で多様なものをいれています。たとえば、血液型は科学的根拠がないにもかかわらず、占いや性格判断の分類として使われた結果、かたよったイメージを持つ人も多いですが、そのことが「言いやすさ」にどう影響しているかを考えるために入れた項目です。

この活動を行う際には、それぞれのカードが「いい／わるい」ではなく、なぜ言いやすかったり言いにくかったりするのかが、言いやすさに影響しているものはなにか、ということについて深める話し合いをしてください。

太字は、アクティビティのねらいについて考えるために必ず配付してほしい項目です。横の行のまとまりごとに、同じカテゴリーの項目をまとめているので、選ぶ際には行単位で選ぶようにすると、カテゴリー内の違いについて話し合うことができます。白紙のカードを使って、項目を追加していただいてもよいです。

※ブルーカラーとは、青えりの作業衣を着ることからいう肉体労働者、ホワイトカラーは肉体労働に対し、白えりの服を着て事務所で働く人をいう言葉。ピンクカラーとは、看護師・保育士など女性が従事する割合が多い職種で、ブルーカラー、ホワイトカラーから派生してできた言葉といわれている。



自分のセクシュアリティを考えよう

ねらい ▶▶

- 自分のセクシュアリティについて考える。
- セクシュアル・マイノリティ (性的少数者) が日常おかれている状況について考える。
- カミングアウトやアウティングの問題について考える。
- セクシュアリティの問題は、セクシュアル・マイノリティだけの問題ではなく、性別を持って生きるすべての人たちに関わる問題だということを考える。

■実践の前に

セクシュアル・マイノリティの人権を考えると、みんなが自分のセクシュアリティを考えることはとても重要です。例えば、セクシュアル・マイノリティの支援団体であるQWRC (Queer and Women's Resource Center) は、中高生向け人権教材DVD『もしも友達がLGBTだったら?』の先生用資料のなかで、以下のように、すべての人が自分のセクシュアリティについて考える重要性を解説しています。

「別にゲイとか差別してないよ、私はフツーだけだね。」「みんな違ってみんないい、個人の自由じゃん。」「他人のことはカンケーない、知りたくない。」そういう多様性を理解したかのような発言をよく聞きます。しかし、1人ひとりの違いは、自分の性のあり方が固有であることを知ってから、初めて実感できることです。“フツー”ってなに? 「普通なんてないんだ」と気づくことです。自分の性に向き合い、独自のあり方を発見することは、他人の多様性を認め、相手の立場を想像し、思いやることに繋がります。

■用語解説

セクシュアリティ: 人間の性に関わるすべてのことがらをあらわす言葉です。いろんな側面がありますが、この教材では、「4つの指標」を使って、4側面に分類して考えていきます。

L G B T: レズビアン (女性同性愛者: Lesbian) ・ゲイ (男性同性愛者: Gay) ・バイセクシュアル (誰かを好きになるときに、性別が第1要件にならない人: Bisexual) ・トランスジェンダー (生まれたときの性別とは異なる性別を生きる (生きたい) 人: Transgender) の頭文字を並べたもの。セクシュアル・マイノリティの意味で使われることも、多くあります。

■ワークショップ実施前のファシリテーター自身の準備

4つの指標のところ、ファシリテーター自身を例として出します。ただし、ファシリテーターだからといって、望まないカミングアウトを強要されるものではありません。ファシリテーター自身の安全を尊重しつつ、なにを提供するか考えておきましょう。

キーワード

4つの指標、同調圧力、マイノリティの不可視化、カミングアウト、アウティング

準備物

- 名刺大カード 1人2枚
- ワークシート①~③ 1人1枚
- 補足資料 1人1組
- クリップボード 1人1枚
- 筆記用具
- タイマー
- ホワイトボードと専用マーカー (黒板も可)

プログラムの流れ

- 10分 1. 趣旨とルールの説明とお守り作り…… • 学習の趣旨とルール説明、お守り作りをする。
- 15分 2. みんなに共通するものは? …………… • 共通点探しをし、「同調圧力」「マイノリティの不可視化」について考える。
- 15分 3. 4つの指標 …………… • 自分のセクシュアリティを考え、セクシュアリティについて説明する。
- 30分 4. わたしはゲイじゃない …………… • カミングアウトやアウティングの問題について考える。
- 20分 5. クールダウン~ごほうびと分かち合い…… • 自分へのごほうびカードを作り、感想を分かち合う。

1 趣旨とルールの説明とお守り作り

10分

趣旨とルール説明7分、お守り作り3分

趣旨とルール説明



今日は、自分自身のセクシュアリティについて考える参加体験型学習(ワークショップ)をします。

ワークショップ(以下、ワーク)というのは、講師が答えを持っているのではなく、参加者のみなさんがやりとりしながら、考えを深めていく学び方です。

今日の学習内容はとても繊細な事柄なので、安全に配慮しつつ、進めたいと思います。

安全にワークを進めるために、次の3つのルールを設定します。

●「守秘・参加・安全(「不参加」・「うそ」アリ)」と板書する。

- ①「守秘」このワークで得た知識は持ち帰ってください。でも個人情報はこの場所に置いて帰ってください。
- ②「参加」このワークは自分自身のセクシュアリティについて考えるワークです。しっかり考えて、ワークに積極的に参加してください。
- ③「安全(「不参加」・「うそ」アリ)」。今日扱うセクシュアリティは、いろんな意味で、とても繊細な事柄です。ここに居るのがしんどくなったら、ちょっと立って、部屋の後方に行ったり、部屋から出て行ったりしてもOKです。また、今日のワークでは、ご自身のセクシュアリティを語る必要が無いように配慮していますが、それで不安を感じたりしたときは、別のセクシュアリティである振りをして自分の身を守ることは、すべてOKです。自分の安全とこの場の安全を守るように心がけてください。

そのため、今回のワークでは、特に、「不参加」と「うそ」をアリ、とします。もし、しんどいと思ったら、「パスします」と言って発言をパスしたり、席を外したり、してください。また、そのような行動を取って目立つのを避けるために、自分に関わる^{いっわ}ことや意見を偽って発言すること、つまり「うそ」も、アリとします。

お守り作り



自分の安全を守るための方法は、いろいろあります。トイレ・給湯室に行く。深呼吸をする。心の中で10数える。パスをする。こうやって、わたしの話をふんふんと聞いているだけでもいいのですが、いざ行動しようとする、頭の中が真っ白になることもあります。安全のために行動しないといけないときって危険なときですから。そのため、自分の安全を守る行動をするための準備を1つしましょう。

●話をしながら、名刺大のカードを1人1枚配付する。



配ったカードに今説明したような、自分の安全を守るために自分ができそうなことを、1つ、あるいは、2つ、3つ書いて、このワークの間、持っていてください。これをお守りとして、なにか嫌な感じがしたときは、自分を守る行動をとってください。

※会場の設営については、イスのみで半円型にするとよい。P6を参照。

・「うそ」という言葉に違和感を唱える人がいる場合は「安全に注意を向けていただくために、ちょっと刺激的な言葉を使いました。抵抗がある方は、心の中で「方便」とか「ちょっとした作り話」といったご自身に抵抗のない言葉に置き換えてください。」などの補足をするとうい。

・参加者には記入時間の区切りを伝えず、みんなの作業を見て記入時間を切る。手が止まっている人には、更に具体的な安全策をいくつか提示する。


2 みんなに共通するものは？

15分


2人ワーク「ふたりに共通するものは？」6分、全員ワーク「みんなに共通するものは？」6分、コメント3分

2人ワーク「ふたりに共通するものは？」

- ワークシート①とクリップボードを1人1枚配付する。


 あまりよく知らない人同士で、2人ずつペアになってください。そして、今配ったシート①に、2人に共通することを10個見つけて書いてください。時間は3分です。

全員ワーク「みんなに共通するものは？」

 今、2人の共通点を探しましたが、この場の全員に共通することをみつけないと、全部で10個ほど出してみたいと思います。全員で共通することを思いついた方からどんどん言ってください。自分には当てはまらないと感じられた方は、口には出さずにいてください。

- 最初に「全員に共通すること」と板書し、続けて参加者から出た共通点を板書する。

出てきた共通項目にコメントする

 例えば、「みんな日本人だ。」という共通点をここで提示すれば、在日外国人を「不可視化」、すなわち、居ないもの・見えないものとして扱うこととなります。その背景には、日本人らしくふるまうことを強要する「同調圧力」があると同時に、ここで「みんな日本人だ。」という共通点を提示すること自体が「同調圧力」にもなります。

- 「マイノリティの不可視化」「同調圧力」と板書する。

- 参加者が奇数の場合は自分が入る。
- 10個出ないペアがあっても、3分で終了する。
- 共通点は、10～15項目程度出してもらおう。


- ここで「不可視化」「同調圧力」の説明も行う。

3 4つの指標


15分

自分のセクシュアリティを考える10分、セクシュアリティに関する説明5分

自分のセクシュアリティを考える


 自分のセクシュアリティを、4つの指標に沿って考えていこうというワークです。

- ワークシート②「性の4つの指標」を1人1枚配付する。

 今回は、今配ったワークシートには記入しないで、心の中で○を付けます。

- 参加者に安心感を持ってもらうために、ペンを使わないワークであることを十分に伝える。

●ホワイトボードに4つの指標のグラフを書き写す。

 記入の説明をします。まず1つめは、「身体の性」です。身体の性にはワークシートにもあるように、性染色体・性腺・内性器・外性器・性ホルモンなど、いろいろな側面があります。例えば、みなさん、自分の性染色体を調べたことはありますか。わたしの場合、身体の性はこのあたりになりますね。みなさん、どのあたりですか。こっそり心の中で○を付けてみてください。

2つめに、心の性です。自分のことをどういう性別と思っているのか、ということです。考えたことはありますか。


3つめは、外見・社会的な性です。自分はどのくらい女らしいとか、男らしいとか、思われていると感じていますか。どのような性別に見られたいと思っていますか。

4つ目は、誰を好きか、です。どのような相手をつまみ、どのようなセクシュアリティの人を恋愛対象としますか。

- それぞれの指標で、ファシリテーター自身のセクシュアリティを例示しながら、説明を進めていく。
- 自分の例示は、参加者が自分のセクシュアリティを考える間にもなる。

35分
経過

セクシュアリティに関する説明

 みなさん、○をつけてみましたか。なにか、発見はありましたか。みんな1人ひとり顔が違うように、1人ひとりのセクシュアリティはその人固有のものです。自分のセクシュアリティを「ヘテロセクシュアルだ。」「ゲイだ。」「トランスジェンダーだ。」と大きな枠組みで名づけて、考えることは、自分を知り、生き方を考える上での指標になります。また、セクシュアル・マイノリティに対する偏見・差別がある今の世の中で、権利獲得運動を進めようと思うときに、大きな枠組みでなかまを見つけ、団結していくことは力になります。でも、「ヘテロ同士だから」「ゲイ同士だから」といって、100%同じセクシュアリティだと思ってしまうのは誤解ですので気をつけましょう。

今日のワークは、自分自身のセクシュアリティを考えるためのもので、いろいろなセクシュアリティの詳しい説明はしません。

いろいろなセクシュアリティについては、ワークシートの説明と、今からお配りする補足資料を参考に、ご自身で学んでください。

●補足資料を1人1組配付する。

■ファシリテーターのみなさまへ■

このワークをペンを持たずに行うのも、参加者同士で分かち合わないのも、カミングアウトする気持ちがなかった人がうっかりカミングアウトしてしまうのを防ぐためです。ファシリテーターはその原則をよく理解したうえでワークに臨んで下さい。

- 自分の恋愛の相手も、それぞれが固有のセクシュアリティを持っていて、4つの指標であらわすこともできることを説明する。

40分
経過

4 わたしはゲイじゃない

30分

ロールプレイ8分、グループで感想の共有8分、全体で感想の共有8分、コメント6分

グループ分けをして、ロールプレイを実施する

- 人数調整のためにファシリテーターが参加することはない。



これからグループを作ってもらいます。3人もしくは4人でグループになってください。

●グループになって座ったら、ワークシート③を1人1枚配付する。



それでは、ワークシートを読んで各グループ内で役を確認してください。役が決まったら、ロールプレイを始めてください。

わたしがAさんの役をやります。わたしのセリフが終わったら、Bさん、Cさんとセリフを続けて言って、Dさんは自分の思いでセリフを言ってください。

●ファシリテーターがAさんのセリフを読む。

*全部3人グループの場合は3回、4人グループがある場合は4回ロールプレイを繰り返す。

48分
経過

グループで感想を共有する



各グループで感想を話し合ってください。

Bさん、Cさんは、なぜ「ゲイじゃない。」と言ったのでしょうか。Dさんの立場に立ったとき、なにを感じましたか。それぞれの気持ちや、発言が生んだ結果を話し合ってください。後で発表してもらいます。

56分
経過

全体で感想を共有する



各グループで話し合った内容を出してください。

64分
経過

発表内容にコメントする

●「カミングアウト」「アウティング」と板書する。



まず、今のワークに関連する言葉として、「カミングアウト」と「アウティング」について、説明します。カミングアウトとは、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の活動の中で生まれた言葉で、同性愛者が自分の性指向を言えずにいる状態を押し入れ(クローゼット)にいる状態と見なして、そこから出てくること、すなわち、自分の性指向を表明することを「coming out of the closet」と言い、これを短縮して、カミングアウトと言うようになりました。

また、セクシュアル・マイノリティの場合、カミングアウトには2段階あると言われています。1つ目は、自分に対するカミングアウト。すなわち、自分のセクシュアリティを自分で認めることで、これは多くのセクシュアル・マイノリティにとって、困難をとまなうことなのです。

2つ目のカミングアウトが、他者に対するカミングアウトで、この場合、全方位的に一気にカミングアウトする場合はまれです。友人にはカミングアウトしたけれど、会社にはしていないとか、姉妹・兄弟にはカミングアウトしたけれど、親にはまだしていないというケースは多くあります。

カミングアウトが自分が自分の意思で行うのに対し、アウティングは、他者が本人の意向とは関係なく行うものです。

先のロールプレイの例で言えば、Aさんがやったのがアウティングです。Bさん、Cさ

んは、自分のセクシュアリティを、否定形ではありますが、表明しました。これはカミングアウトです。BさんもCさんも、自分のセクシュアリティを言っただけですが、結果として、Dさんに圧力がかかったのではないかと、わたしは想像します。もし、Dさんが、「わたしはゲイです。」と言ったとした場合、それはカミングアウトではあるのですが、自由意志によるものではなく、AさんのアウティングやBさん・Cさんのカミングアウトにより圧力を受け、強制されたカミングアウトになると、わたしは思います。

70分
経過

5 クールダウン～ごほうびと分かち合い

20分

ごほうびカード作り3分、分かち合い17分

●名刺大のカードを1人1枚配付する。



今から、ごほうびカード作りのワークを行います。ワークはいろいろ発見があると同時に、いろいろしんどい部分が出てしまうこともあります。今日がんばった自分への、ごほうびを、今配ったカードに書いてください。「よくがんばりました。」でもいいですし、「今日のごほうびに、自分のためのスイーツを1つ買って帰ります。」でもいいです。

73分
経過

分かち合い



これからみんなで今日のワークの分かち合いをしていきたいと思いますので、みんなで輪になってください。

●各自イスを持ち、大きな輪を作るように移動してもらおう。



今日は、みなさんお疲れさまでした。わたしの左隣から時計回りに感想を言っていってください。そのとき、もしよければ、先ほど作ったごほうびカードも紹介してください。

• 時間と人数を見て、1人の時間を計算して、指示する。秒針のある時計を1つ用意して、話が終わった人がタイムキーパーになって、時間が来たら時計を話し手に渡していく方式がお勧め。

★より深く学びたい人のための参考図書★

■全般

『セクシュアルマイノリティー同性愛、性同一性障害、インターセックスの当事者が語る人間の多様な性』
(セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク監修/明石書店/2003)

■個別テーマ

『プロブレム Q & A 同性愛って何? [わかりあうことから共に生きるために]』
(伊藤悟 他/緑風出版/2003)
『トランスがわかりません!! ～ゆらぎのセクシュアリティ考』
(ROS/アットワークス/2007)

■まんが

『LOVE MY LIFE』(やまじえびね/詳伝社/2001)
『IS ～男でも女でもない性』(六花チヨ/講談社/2003～)
『きのう何食べた?』(よしながふみ/講談社/2007～)
『放浪息子』(志村貴子/エンターブレイン/2003～)

ワークシート①「ふたりに共通するものは？」

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

*ふたりの共通点を10個探してください。

性の4つの指標

もし友だちが LGBT だったら？
(QWRC制作) ワークシートより

女 男

身体 _____

心 _____

外見 _____

誰が好き _____

相手は、どの位置に丸がつくと思いますか？

女 男

身体 _____

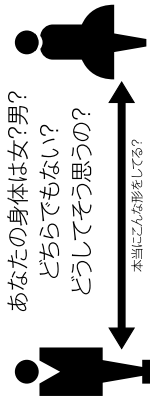
心 _____

外見 _____

誰が好き _____

◎このワークではペンを使いませぬ。心の中で上の4つの指標に○をつけてみましょう。

1 身体の性



あなたの身体は女？男？
どちらでもない？
どうしてそう思うの？

※

もしも
ちしき

●インターセックス(半陰陽、性分化疾患)って何？

身体の性が、男女のいずれにも典型的でない人のことを言います。外性器が男女どちらのものか判別し難かったり、卵巣と精巣の混合型の性腺を持っているなど様々な状態があります。指標で丸をつけるなら真ん中とか。

身体の性とは生物学的な性別のことです。性染色体・性腺・内性器・外性器・性ホルモンなどいろいろあります。元々人間の原型は女の子です。男の子遺伝子が働くと、男の子に分化します。だれもが女と男を両極にした連続線上のどこかに位置しているというわけです。

2 心の性

あなたの心の性別は何ですか？
何歳ごろに気づきましたか？
どんな時に自覚しますか？
自分の性別なんて考えたこともない…？
なんかうまく言えないけど、違和感のようなものがある…？

もしも
ちしき

●トランスジェンダーって何？

生まれた時の性別とは異なる性別を生きる(生きたい)人のことです。手術などで身体を変えたい人も 性別は、服装だけ変える人もいるし、何も変えない人もいます。女から男、男から女に変わるだけではなく、女でも男でもあるという人や、性別を決めない人、誰よりも男、誰よりも女、丸をつけるなら「身体の性」とは違う場所になります。(「性同一性障害」は医学的な診断名です。)

心の性とは自分のことをどういう性別だと思ってるか、このことです。自覚のこと。違和感があったり、考えたことがなかったのなら、もしかしたら身体の性別と近かったり、一致しているのかもしれない。



3 外見(社会的な性)

あなたにとって「女らしさ・男らしさ」って何ですか？
どのぐらい「女らしく・男らしく」暮らしていますか？
どのぐらい「女らしい・男らしい」と見られていると思いますか？

もしも
ちしき

●文化によっては「女らしさ」「男らしさ」の二種類だけでなく、三つ目や四つ目の性別がある所もあります。

外見(社会的な性)は、社会が決めている女らしさや男らしさのことです。外見、服装、しゃべり方、立ち振る舞い、行動などです。国や地域、時代や世代によっても、もちろん異なります。

★考えてみよう★ 女らしさって何？!

なぜ「女らしく・男らしく」しないといけないのでしょうか。人はなぜ「女らしい・男らしい」人を評価するのでしょうか。逆に「女らしく・男らしく」なさいと言われ嫌な気持ちになるのはなぜなのでしょう。理由を考えてみましょう。

例) ・女らしくないとお嫁にいけないと言われたから

4 誰が好きか(相手)

今好きなのはいますか？

その人はどんな人ですか？

相手の身体の性別を確認してから好きになりますか？

相手の心の性別を聞いたことがありますか？

どんな服装や髪型の人が好きですか？

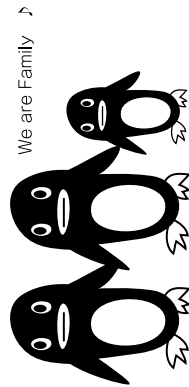
その人は同性が好きですか、異性が好きですか？

もしも
ちしき

●同性愛って何？

同性愛は「男として(男のま約)男が好き」ということです。男が好きだからと言って女になりたいわけではありませぬ。よく性同一性障害と間違えられるけれど違う話です。同性愛は自然に反している、と言う人もいます。しかし動物にも同性愛の行動があります。

好きになる相手に4つの指標があります。また、性別だけで人を好きになるわけはありません。その場合は自分なりの指標を作ってみてください。



●バイセクシュアル…同性も異性も好きになる人。または、相手の性別にこだわらない人。あるいは、相手の性別の優先順位が低い人。(性別よりも体格や性格や性を優先するなど)

●Aセクシュアル…性的に人を好きにならない人、または性の欲求がなかったり、とても少ない人。

●ヘテロセクシュアル…異性が好きの人。

ワークシート③「わたしはゲイじゃない。」

■役割分担

3人のグループは、時計回りに「B」「C」「D」の役を決めてください。

4人のグループは、時計回りに「B」「C」「D」と観客の役を決めてください。

■ロールプレイの手順

〈状況設定〉

ある会社のある部署です。

その部署の全構成員である4人の男性が1つの部屋に集まっています。

〈Dさんの背景〉

Dさんはゲイですが、会社では内緒にしています。

ロールプレイ(1回目)

セリフ

A (ファシリテーター) :うちの部署にゲイが1人いるんだってさ、誰だろうね。じゃ。

*と言って、A部屋を去る。

B: え～～! そうなの? 誰かなあ。あ、俺は違うよ。

C: え、僕も違うけど、・・・。

*BとCが、Dを見つめる。

D:

役の人は、自分の気持ちでセリフを考えて言ってみましょう。

2～4回目のロールプレイ

役を時計回りにずらして、同じロールプレイを行います。

■用語解説

ゲイ: 男性同性愛者。男として(男のまま)男が好きな人。

補足資料 自分のセクシュアリティを考えよう

今回のワークの中では、セクシュアル・マイノリティに関する細かな説明はしていませんが、ワークで使った4つの指標は、このセクシュアリティを理解するうえでもとても役に立ちます。

以下に、『もしも友達がLGBTだったら?』先生用資料(QWRC制作)から、4つの指標を使った解説を紹介します。さらに、バイセクシュアルとAセクシュアルの解説を付しました。

●性分化疾患 (DSD) Disorders of Sex Development

外性器・内性器・内分泌系・性染色体など身体的な特徴が、男女に判別しづらい人の状態。医療的対応が必要な場合もあります。当事者が知らない・知らされていない場合も少なくありません。「インターセックス(半陰陽)」「性発達障がい」「性分化障がい」とも言われてきましたが、2009年に日本小児内分泌学会は総称を「性分化疾患」と統一しました。

性分化疾患の人が「身体の性」に○をつけるなら真ん中あたりですが、だからと言って次の「心の性」も真ん中に○をつけるとは限りません。当事者は、自分のことを「女性」あるいは「男性」とゆるぎない自覚を持っている場合がほとんどです。

●性同一性障がい (GID) Gender Identity Disorder

医学的な診断名で、身体的な性別に不快感、違和感などをもち、身体を変え、反対の性で生きることを強く望みます。性同一性障がいの診断を受けた人は、本人の希望があれば治療を受けることができます。なお特定の要件を満たす人は、戸籍の性別を変更することが可能です。また、持病があるなどの健康的理由、高額な医療費が負担できないなどの経済的な理由から治療を進められない当事者もいます。

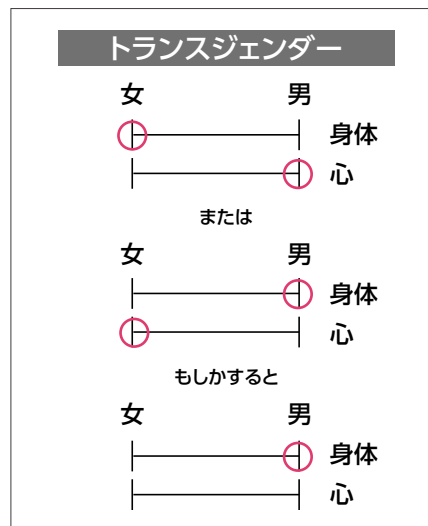
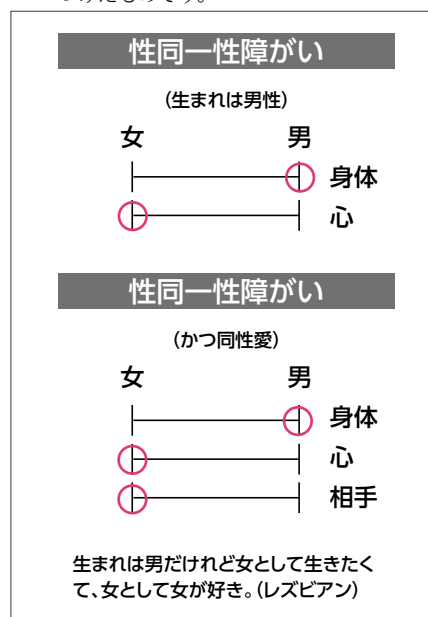
●トランスジェンダー (TG) Transgender

「身体の性」と「心の性」が異なる人たちの総称。性別越境者と訳されます。性同一性障がい (GID) もトランスジェンダーですが、トランスジェンダーの方がより広い概念です。

常時望む性別で生活する人もいるし、プライベートな時間や職業的な場面に限定する人もいます。また、身体と心の性別に違和感・不一致感をもつ人を総称する言葉として使われることも多いです。

トランスジェンダーの人が○をつけるなら、「身体の性」と「心の性」は違う場所につけることとなります。典型的な○は、端っこ逆の端っこを○するパターンですが、現実にはもっと多様な当事者がいます。例えばFtX (Female to X)、MtX (Male to X) といって、女性/男性として生まれ、どちらでもない性別として生きる・生きたい人などです。

※図はワークシート②の4つの指標に○をつけたものです。



●同性愛

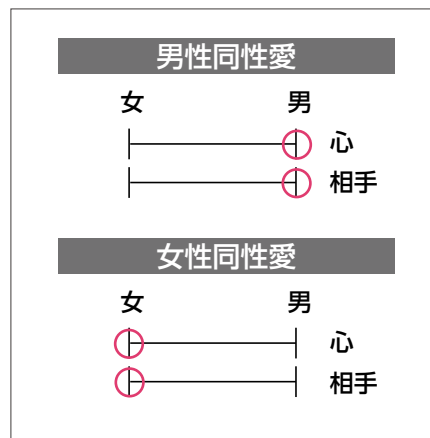
1990年、WHO(世界保健機関)の精神疾患リストから同性愛が外されています。同性愛は病気ではありません。同性愛は「女として(女のまま)女が好き」・「男として(男のまま)男が好き」ということです。例えば、男が好きだからと言って女になりたいわけではありません。よく性同一性障がいと間違えられますが、違う話です。指標で示してみると理解しやすいと思います。

男性同性愛の場合は「心の性」が男に○。「誰が好きか」も男に○。男として、男が好き、ということ。一方、性同一性障がい(生まれは男)の場合、「身体の性」は男に○。「心の性」は女に○。「誰が好きか」は人によって○の場所が違います。女に○の人もいれば、男に○の人もいれば、両方好きな人もいます。

同性愛というのは「心の性」と「誰が好きか」の場所が同じ人のことです。好きになる対象の問題です。性同一性障がいは「身体の性」と「心の性」の○の位置が違う人のことです。心と身体の不一致の問題です。ですから、性同一性障がいで、かつ、同性愛ということもあります。

同性愛は自然に反している、とよく言われます。しかし動物にも同性愛の行動があります。動物界において同性愛はごく一般的なことであり、現在確認されているだけでも地球上で1500種もの動物にこのような傾向が見られ、そのうち500種は既にきちんとした記録も取られて立証されているそうです。

ニューヨークの動物園で実際にあった、オスのペンギンのカップルによる子育ての様子が絵本になっています。『タンタンタンゴはパパふたり』(ポット出版)



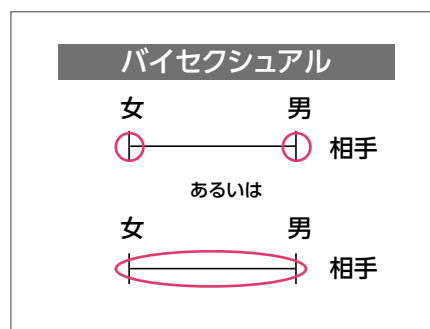
《性同一性障がいで同性愛の人の図は、前ページ「性同一性障がい」の図を参照してください。》

●バイセクシュアル

恋愛の要件に相手の性別が第1とならない(優先順位が低い)こと。

例えば、女か男かということより背が高いかどうかの方が、恋人を選ぶ場合の優先順位が高い、ということです。また、相手の性別にこだわらないということは、恋愛対象が女や男に限らず、そのどちらでもない人や、どちらでもある人も対象となる場合も多い、ということでもあります。

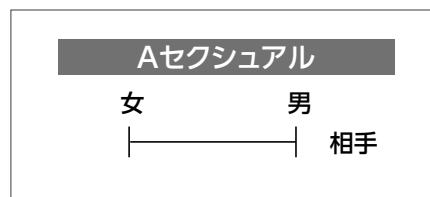
4つの指標の中では「誰が好きか」だけに関係があり、その人自身の「身体の性」や「心の性」がどこに位置していても関係ありません。



●Aセクシュアル(無性愛)

同性にも異性にも恋愛感情を抱かないこと。アセクシュアル、あるいは、エイセクシュアルと読みます。

4つの指標の中では「誰が好きか」だけに関係があり、その人自身の「身体の性」や「心の性」がどこに位置していても関係ありません。





名まえ、それぞれの選択

ねらい ▶▶

- 名前を名のするという、日常の行為を通じて、在日外国人の人権を考える。
- 名前を名のすることすら困難にさせる社会のありように気づく。
- どうすれば、外国人が名前を「普通」に名のることのできる社会になるかを考える。

キーワード 名前、名のる、隠す、ルーツ、在日外国人

準備物

- 名札(台紙含む) 参加者数 ● マーカー・A4の白紙 参加者数
- ワークシートA・Bと資料1・2 参加者数 ● もぞう紙(1/2サイズ)(A3白紙) 各グループ2枚
- ファシリテーター用もぞう紙 適宜 ● ホワイトボードと専用マーカー(黒板も可)

プログラムの流れ

- 3分** 1. 趣旨とルールの説明 ● ねらいの説明など。
- 12分** 2. 名札作り ● 名札作成と自己紹介と導入。
- 35分** 3. 高校生の話を読んで ● 名前を変える、ということについて考える。
- 10分** 4. 考えるヒント、資料の説明 ● 在日外国人の状況と、名前をめぐるさまざまな状況を考える。
- 15分** 5. 高校生たちのこれからを考える ● 高校生の将来で、名前に起因する困難を考える。
- 15分** 6. 風通しのいいコミュニティにするためにできること3か条..... ● 出自を隠さず生きていくために私たちができることを考える。

時間

詳細な手順

ポイント

スタート

1 趣旨とルールの説明

3分



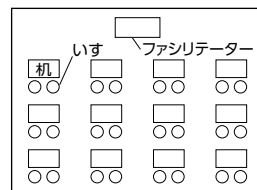
今日は「名のる」をテーマに、「みんながいきいき暮らせる社会」とは、どんな社会か考えたいと思います。

ワークショップ形式で学んでいきます。ワークショップというのは、講師が答えを持っているのではなく、参加者のみなさんがやりとりしながら、考えを深めていく学び方です。

人権というと、難しく思われる方も多いかもかもしれませんが、できるだけ身近なとこ

会場設営の例

【講演会形式】



※会場設営は、講演会形式で行う。

ろから考えていきたいと思っています。正解があるわけではありません。みなさんには、ふだんの言葉で、自分の思うことをおしゃべりしていただければと思います。

そのために、3つ、お願いがあります。この場では、「協力・尊重・守秘」をルール(約束)としたいのです。

●「協力・尊重・守秘」と板書する。



「協力」とは、おたがいに学ぶために協力しましょう、ということ。「尊重」とは、それぞれのあり方や意見・思いを尊重しましょう、ということ。「守秘」とは、ここで出された個人の経験や考えはこの場にとどめる(外に持ち出さない)、ということです。

3分
経過

2 名札作り

12分

説明2分、名札作成3分、自己紹介3分(@30秒×2回、1分×2回)、全体共有とペアでのふりかえり4分

名札を作成する



では、みなさんに、今から名札を作ってほしいと思いますので、名札を配ります。

●名札、台紙、マーカーを個人に配付する。



今回は「みなさんが思いつく外国の名前」で名札を作ってもらいたいと思います。ニックネームではなく、フルネームで名前を考えてください。名前が決まったら、その名前で名札を作ってください。2分をお願いします。今日の学習の時間は、その名前で活動してもらいます。

自己紹介と作成時の気持ちを共有する



今からペアで話をさせていただきます。お近くの方とペアになってください。まず、話し手になる人を決めてください。もう1人は、聴き手になります。

①では、まずは、作った名前以自己紹介。どうしてその名前にしたか、理由も話してください。1人30秒です。30秒たったら合図をします。話し手と聴き手を交代して自己紹介をしてください。

②つぎは、もう少しわしく自己紹介をしましょう。その時に外国の名前を作ったとき、どんな気持ちでしたかも入れて自己紹介してください。1人1分です。1分たったら、合図をするので、話し手と聞き手は交代します。

ありがとうございます。どんな話が出たか。紹介してもらっていいですか。どんな名前にしたでしょうか。どこの国をイメージして作ったでしょうか。



アジアの国をイメージして作った人はいますか。では、ヨーロッパやアメリカをイメージした人は。それ以外の人はいますか。

今、日本で暮らしている外国人は、アジア地域の人たちが多いです。みなさんの作った名札はどこの国でしょう。なぜその国にしたのでしょうか。さっきのペアの方と、2分ほど話し合ってみてください。

• 時間は目安なので、状況によって柔軟に対応する。

• 時間が余った人は、名札を装飾してもらってもよい。

• いくつか感想を出してもらおう。

みなさん、いろいろ感じられたかと思います。今回は、いつもの名前とは違う、その名前で今日のこの時間を過ごしてほしいと思います。


15分
経過

3 高校生の話を読んで

35分


グループ作りと自己紹介5分、個人記入5分、グループでセリフをまとめる8分、発表7分
他のワークシートについて考える5分、共有5分

グループを作って自己紹介


 今度はグループになって、考えていきたいと思います。4、5人のグループを作ってください。

では、グループで簡単な自己紹介をしましょう。
なぜ、その名前にしたのか、を入れて自己紹介をしてください。
1人30秒です。

ワークシートで考える

 今からワークシートを配付します。


- 参加者には、半分のグループに【ワークシートA】を人数分、残り半分のグループに【ワークシートB】を人数分配付する。

 まずは、個人で、本人の気持ち・小学校からの友だちの気持ち・親の気持ちを想像して、吹き出しにセリフを書いてください。時間は5分です。

【ワークシートA】ベトナム人高校生の話


【ワークシートB】在日コリアン高校生の話

グループで考えたセリフを共有する

 ではみんなの意見を持ちよってグループでセリフを考えて、配った紙にまとめてください。1つのセリフにするのが難しい時には、出た意見をそのまま書いてもらってもいいです。時間は10分です。後で発表してもらいます。

- A3白紙または、もぞう紙をグループに2枚配付する。


まとめたセリフを発表し共有する

 各グループで発表してもらいます。グループで考えたセリフや意見を発表して下さい。すべてのグループに発表してもらいますが、まず、発表して下さるグループはありますか。


他のワークシートについて考える

- 数字を言ってもらってグループを作ってもよい。また、近くの人たちで集ってもらってもよい。


- 違うワークシートを配付していることは、参加者には説明しない。

 みなさん、気づいたことはありませんか。もうおわかりだと思のですが、AとB
で実はワークシートが違っていました。今から、それぞれもう1つの他のグルー
プのワークシートを配付します。

●別のグループのワークシートを1人1枚配付する。

 では、それぞれのワークシートを、取り組んだチームの方からどなたか読んでくれ
ませんか。グループで感想や、気づきを話し合ってください。時間は5分です。

全体で共有する

 では、どんな意見が出ましたか。発表してもらっていいですか。


- 意見を可視化するため、出た意見をもぞう紙または、ホワイトボードに書く
とよい。
- 発表はいくつかでよい。適宜コメントする。

50分
経過

4 考えるヒント、資料の説明

10分

クイズ3分、資料の説明7分

 ここでクイズです。

今、日本に住む外国人は、何人いるでしょう？


1. 約2100万人 2. 約210万人 3. 約21万人

正解と思う答えに手をあげてください。

(1. 約2100万人だと思う人は手をあげてください、……と続ける)

正解は2です。2010年(平成22年)で2,134,151人です。

では、一番多い国はどこだと思いますか。中国です。ついで、韓国・朝鮮。先ほども
言ったようにアジアの国が多くて約8割、南米が約1.5割を占めます。

 では、次のクイズです。

大阪での婚姻件数のうち、約何組に1組が国際結婚でしょう。つまり、夫または、
妻どちらかが、外国籍で、どちらかが日本国籍のカップルです。


1. 約2000組 2. 約200組 3. 約20組

正解だと思う答えに手をあげてください。

(1. 約2000組だと思う人は手をあげてください、……と続ける)

正解は3の20組に1組です。どうですか。思ったより多いと感じられたのではないで
しょうか。

●資料1を1人1枚配付する。

 日本社会では、2010年(平成22年)末データで100人に1.69人が外国籍
です。特に大阪府では、100人に2.38人(約40人に1人)が外国籍です。

また、大阪での国際結婚は20組に1組(5.13%)です。昔は父が日本国籍を持って
いなければ、子どもは日本国籍を認められませんでした。今は、父、母どちらかが日本
国籍なら、子どもに日本国籍が認められます。この国際結婚から生まれてくる子ども
たちは日本にも、外国にもルーツがある子どもたちといえます。この子たちが自分の

ルーツを隠さずに生きることができる社会になってほしいと思っています。
次に配るのは、外国にルーツがある人たちの名前につながる思いです。

●資料2を1人1枚配付する。



AとBのケースは、先ほどみなさんで考えてもらいました。他のケースを誰か読んでくれますか？

●参加者に読んでもらう。



名前を名のするという、日常ありふれた行為なのですが、日本に住む外国人にはいろいろな思いがあるといえます。サッカー選手などでは、以前の名前の読み方のまま日本国籍を取得し自分のルーツを大切にしている人もいます。どんな名前でも名のることができる社会が、みんなが生きやすい社会といえるのではないのでしょうか。

- 活躍しているスポーツ選手などを例にあげてもよい。その場合は、本人が公表していることを確認すること。

60分
経過

5 高校生たちのこれからを考える

15分

グループ討議5分、発表と共有10分

グループで高校生の将来の困難を考える



では、次のワークです。先ほどの高校生は、これから社会に出て就職や恋愛、結婚などさまざまな経験をしていきます。

Aのグループの方は、「外国名を名のらず、日本名で生きていくときどんな問題や困難が起きるだろうか」を。

Bグループの方は、「外国名を名のって生きるときにどんな問題や困難が起きるだろうか」を考えてください。

●「どんな問題や困難が起きるだろうか」と板書する。

出た問題や困難を紙に書いて、後で発表してもらいます。想像力を働かせてみてください。時間は3分です。

●A3白紙または、もぞう紙をグループに1枚配付する。

- メモ用紙としてA4の紙をみんなに配ってもよい。

グループで出た内容を共有する



では、発表してもらいます。

ありがとうございます。みなさんが考えたことや、それ以外にもさまざまなことが起きるかもしれません。また、経験しなくてすむこともあるかもしれません。

- まとめなくてよい。起きそうな困難をなるべくたくさん出してもらう。


- 時間がなければ発表はいくつかのグループでよい。
- 意見を可視化するため、出た意見をホワイトボードに書くとよい。貼り出してよい。

6 風通しのいいコミュニティにするために できること3か条

15分

個人記入5分、共有5分、まとめ5分

3か条を個人で書く

 外国名を名のりという行為は、私は外国にルーツがあるのだとカミングアウトすることでもあります。


自分にどんなルーツがあるのか、本来は隠さなくてもいいことではないでしょうか。けれど、さまざまな社会のありようによって、隠さざるを得ないこともあります。

みんなが、出自を隠さずに自分の名前を名のり生きていける、「風通しのいいコミュニティにするためにできること3か条」を考えたいと思います。これから、配付する紙に3か条を書いてみてください。

●「風通しのいいコミュニティにするためにできること3か条」と板書する。

個人でできること、みんなでできること、社会で変えていくことなど、いろいろな視点があると思います。自由に3つ書いてみてください。


共有

 では、書いたものは机に広げて、他の人の書いたものも見てください。

- 自由に歩きまわってよいことを伝える。

まとめ

ファシリテーターはいくつかの「3か条」を読み上げる。

 では、みなさん、お疲れさまでした。名札をはずして、それぞれ、いつもの自分の名前を教え合ってください。グループの方、ペアの方にもありがとうと言ってください。

最後に自分に大きな拍手をしてあげてください。

みなさん、今日は、最後までご参加ありがとうございました。

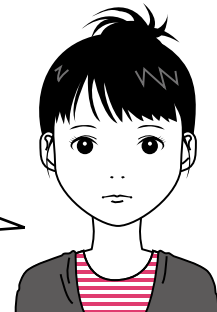
- 時間があるときは、1人ずつ発表してもらってもよい。

【シートA】 ベトナム人高校生の話

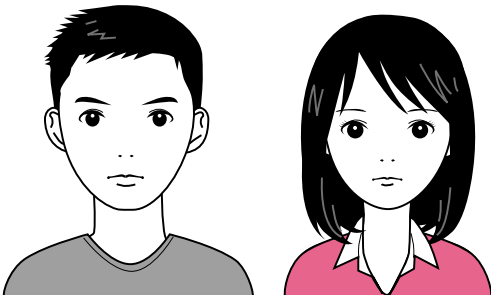
わたしはベトナム人です。両親がベトナムでの迫害をおそれ、小舟で日本に渡ってきたそうです。わたしは日本で生まれました。両親は日本語がそれほど、うまくありません。家では、両親はベトナム語で話します。わたしはベトナム語は聞きとれますが、話すのは苦手で、日常は日本語です。

中学までは、地元の学校でした。ベトナムの名前で、「グエン ティ ゴック」というベトナム名を名のっていました。学校では時々、名前をからかわれることもありました。高校は、地元から離れた学校に進学しました。高校からは、「木村美香」という日本名で通うことにしました。ベトナム人であることは仲のいい人だけに言っています。

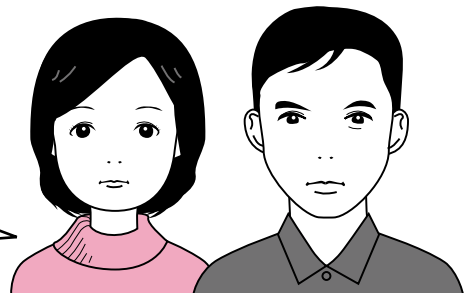
本人の気持ち



小学校からの友だちの気持ち



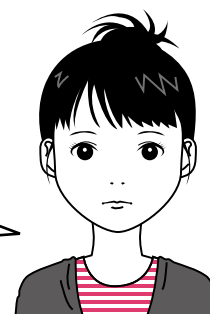
親の気持ち



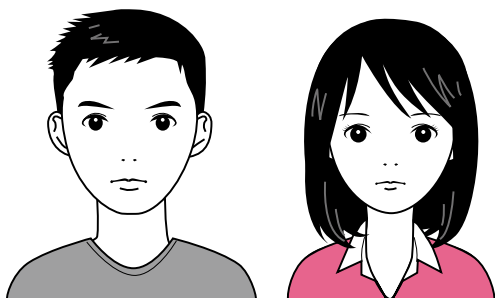
【シートB】 在日コリアン高校生の話

わたしは、中学生のとき、韓国籍を持っていたことを知りました。
それまで、自分は「森下恵子」という日本人だと思っていたので、正直始めはショックでした。高校になって、外国人登録をしました。そのとき民族名があるということも知りました。わたしは、そのときから、「朴淑姫(パクスッキ)」という本名を名のることにしました。

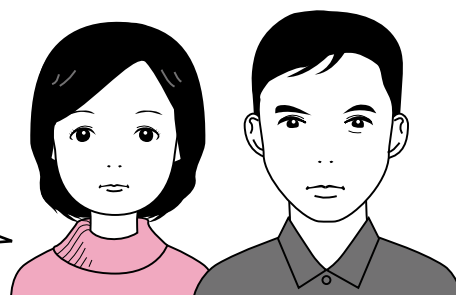
本人の気持ち



小学校からの友だちの気持ち



親の気持ち



資料 1

■国籍(出身地)別外国人登録者数

国籍(出身地)		総 数		
			男	女
総 数		2,134,151	972,481	1,161,670
ア ジ ア		1,681,469	712,680	968,789
内	中国	687,156	286,032	401,124
	韓国・朝鮮	565,989	257,761	308,228
	フィリピン	210,181	46,216	163,965
	上記以外	218,143	122,671	95,472
ヨーロッパ		60,975	36,276	24,699
アフリカ		12,130	9,312	2,818
北米		64,653	42,659	21,994
南米		300,142	161,628	138,514
オセアニア		13,548	9,311	4,237
無国籍		1,234	615	619

2010年(平成22年)登録外国人統計
国籍(出身地)別年齢・男女別外国人登録者 よりデータ抜粋

■都道府県別外国人登録者数

	外国人登録者数	人口	
全国	2,134,151	126,381,728	1.69%
北海道	22,239	5,488,092	0.41%
青森	4,457	1,369,629	0.33%
岩手	6,191	1,324,924	0.47%
宮城	16,101	2,335,682	0.69%
秋田	4,061	1,082,603	0.38%
山形	6,591	1,162,744	0.57%
福島	11,331	2,019,618	0.56%
茨城	54,439	2,929,085	1.86%
栃木	32,607	1,980,746	1.65%
群馬	43,082	1,972,287	2.18%
埼玉	123,137	7,104,590	1.73%
千葉	114,254	6,135,236	1.86%
東京	418,012	12,833,956	3.26%
神奈川	169,405	8,921,252	1.90%
新潟	13,831	2,362,420	0.59%
富山	13,857	1,082,108	1.28%
石川	11,286	1,159,897	0.97%
福井	12,418	795,496	1.56%
山梨	15,732	850,546	1.85%
長野	35,186	2,122,509	1.66%
岐阜	48,461	2,043,467	2.37%
静岡	86,158	3,702,776	2.33%
愛知	204,836	7,247,125	2.83%
三重	46,475	1,821,502	2.55%
滋賀	26,417	1,388,741	1.90%
京都	52,742	2,593,340	2.03%
大阪	206,951	8,697,550	2.38%
兵庫	100,387	5,507,961	1.82%
奈良	11,304	1,391,395	0.81%
和歌山	6,152	997,305	0.62%
鳥取	4,173	585,005	0.71%
島根	5,695	712,516	0.80%
岡山	22,394	1,926,378	1.16%
広島	39,657	2,827,820	1.40%
山口	14,324	1,439,011	1.00%
徳島	5,157	781,300	0.66%
香川	8,389	988,786	0.85%
愛媛	8,986	1,423,425	0.63%
高知	3,460	761,239	0.45%
福岡	52,750	5,030,961	1.05%
佐賀	4,310	846,146	0.51%
長崎	7,698	1,420,166	0.54%
熊本	9,004	1,809,626	0.50%
大分	10,649	1,187,599	0.90%
宮崎	4,279	1,131,381	0.38%
鹿児島	6,193	1,700,683	0.36%
沖縄	8,933	1,385,104	0.64%

2010年(平成22年)登録外国人統計
都道府県別国籍(出身地)別外国人登録者 よりデータ抜粋
2010年(平成22年)人口動態調査
都道府県(20大都市再掲)別みた人口動態総覧 より抜粋

■夫妻の国籍別にみた都道府県別婚姻件数

	夫妻の一方が外国籍	婚姻件数	
全国	30,207	700,214	4.31%
北海道	292	28,389	1.03%
青森	114	5,924	1.92%
岩手	112	5,724	1.96%
宮城	269	11,972	2.25%
秋田	70	4,281	1.64%
山形	141	5,159	2.73%
福島	259	9,582	2.70%
茨城	771	15,044	5.12%
栃木	467	10,616	4.40%
群馬	400	9,679	4.13%
埼玉	2,017	39,160	5.15%
千葉	2,020	34,785	5.81%
東京	6,051	91,196	6.64%
神奈川	2,891	54,203	5.33%
新潟	312	11,018	2.83%
富山	225	4,928	4.57%
石川	181	5,829	3.11%
福井	142	3,705	3.83%
山梨	200	4,221	4.74%
長野	511	10,318	4.95%
岐阜	535	10,087	5.30%
静岡	974	20,323	4.79%
愛知	2,539	45,039	5.64%
三重	430	9,396	4.58%
滋賀	274	7,691	3.56%
京都	562	13,664	4.11%
大阪	2,631	51,242	5.13%
兵庫	1,157	29,752	3.89%
奈良	180	6,595	2.73%
和歌山	152	4,771	3.19%
鳥取	87	2,834	3.07%
島根	83	3,283	2.53%
岡山	334	9,894	3.38%
広島	498	15,402	3.23%
山口	200	6,966	2.87%
徳島	64	3,573	1.79%
香川	129	4,975	2.59%
愛媛	102	6,922	1.47%
高知	73	3,328	2.19%
福岡	654	29,247	2.24%
佐賀	75	4,210	1.78%
長崎	143	6,647	2.15%
熊本	173	9,098	1.90%
大分	114	6,076	1.88%
宮崎	83	5,892	1.41%
鹿児島	114	8,682	1.31%
沖縄	402	8,892	4.52%

2010年(平成22年)人口動態調査
夫妻の国籍別にみた都道府県(20大都市再掲)別婚姻件数より抜粋

資料2 日本で暮らす外国にルーツがある高校生たちの話

この話は、実話をもとに再構成しています。

ベトナム人高校生 木村美香さん

わたしはベトナム人です。両親がベトナムでの迫害をおそれ、小舟で日本に渡ってきたそうです。^{※1}わたしは日本で生まれました。両親は日本語がそれほど、うまくありません。家では、両親はベトナム語で話します。わたしは、ベトナム語は聞きとれますが、話すのは苦手で、日常は日本語です。

中学までは、地元の学校でした。ベトナムの名前で、「ゲン ティ ゴック」というベトナム名を名のっていました。学校では時々、名前をからかわれることもありました。高校は、地元から離れた学校に進学しました。高校からは、「木村美香」という日本名で通うことにしました。ベトナム人であることは仲のいい人だけに言っています。

在日コリアン高校生 朴淑姫(パクスッキ)さん

わたしは、中学生のとき、韓国籍を持っていたことを知りました。^{※2}

それまで、自分は「森下恵子」という日本人だと思っていたので、正直始めはショックでした。高校になって、外国人登録をしました。そのとき民族名があるということも知りました。わたしは、そのときから、「朴淑姫(パクスッキ)」という本名を名のることにしました。

中国人高校生 山田翔(しょう)さん

僕は日本で生まれた中国人です。母が中国帰国者^{※3}の孫で、父は中国人です。先に渡日したいところが、中国名で保育所に通っていたときに、はげしいいじめにあったという話を聞いて、両親は僕を山田翔と日本名をつけて育てました。中国の名前もありますが、日常は山田翔と名のっています。自己紹介などでは僕は中国国籍を持っていることを伝えています。

中国人高校生 劉鈴(リュウリン)さん

わたしは、生まれたときから、「劉鈴(リュウリン)」という本名で生活しています。父が中国帰国者^{※3}の孫で、私が生まれる前に中国から渡ってきました。国籍は中国籍で、家族みんな、中国名で暮らしています。正直、学校で、変な名前とか、帰れとか言われたこともあります。でも、大好きな友人も日本にたくさんいます。生まれたときにつけてもらった名前なので、この名前で生きていきたいです。

父がコリアン、母が日本人の高校生 金冬人(キムふゆと)さん

僕の父は、在日コリアン3世で、母は日本人です。僕は、「金冬人(キムふゆと)」という名前で生きています。金は父のルーツである韓国の名前を、冬人は母のルーツである日本の名前です。僕は、この名前が気に入ってます。

※1～3の説明については、P35参照

■解説

※1…… 1975年、インドシナ三国(ベトナム・ラオス・カンボジア)では相次いで社会主義体制に移行しましたが、新しい体制の下で迫害を受けるおそれのある人々や新体制になじめない人々がボートで海上へ逃れたり(ボート・ピープル)、陸路隣国へ逃れました(ランド・ピープル)。

これらの人々を総称してインドシナ難民といい、その総数は約144万人に達します。その内約130万人がアジア地域の難民キャンプを経て、また、ボート・ピープルとして、アメリカ・オーストラリア・カナダ・日本などへ定住しました。

(財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部 ホームページより)

※2…… 我が国に多くの韓国・朝鮮人が、住むようになったのは、1910年の韓国併合により日本が朝鮮半島を植民地にしたことによります。

その結果、朝鮮人は日本人とされ、朝鮮の学校では朝鮮語や朝鮮の歴史の授業が禁止されました。加えて、日本人として日本名を名のることが事実上強制されました(「創氏改名」)。

また、「土地調査事業」により、多くの農民は土地を失い、職を求めて日本に渡ってきました。けれども、日本に来た朝鮮人の多くは建設現場、炭坑、紡績工場などで、低い賃金でしか働けませんでした。

第二次世界大戦の勃発により、国内の労働力が大きく不足したため、最初は自由募集の形で、戦争が激化するにつれて国民徴用令により強制的に多くの朝鮮人が日本に連れてこられました。

これらは、日本が戦争で負けるまで続きましたが、敗戦後、日本国籍を持っていた朝鮮人は「外国人」であるとされました。現在の在日韓国・朝鮮人のほとんどは我が国と朝鮮半島をめぐる歴史の中で日本に来ることを余儀なくされた人々とその子孫です。

ところで、在日韓国・朝鮮人が「通称名」を使うのは、法律で強制されているわけではありません。しかし、就職差別や住居差別などの民族差別が現存するなど、差別を回避するために本名を名のれないという状況は残っています。

(『動詞からひろがる人権学習』5「名のる」 大阪府教育委員会発行より)

※3…… ここでいう中国帰国者とは、中国残留邦人のことをさします。

1945年(昭和20年)当時、中国の東北地方(旧満州地区)には、開拓団など多くの日本人が居住していましたが、同年8月9日のソ連軍の対日参戦により、戦闘に巻き込まれたり、避難中の飢餓疾病等により多くの方が犠牲となりました。このような中、肉親と離別して孤児となり中国の養父母に育てられたり、やむなく中国に残ることとなった方々を「中国残留邦人」といいます。

(厚生労働省ホームページより)

告げることから

ねらい ▶▶

- 人をありのままに認めることの大切さに気づき、それが普遍的な人権概念の尊厳であることを考える。(人権の普遍性)
- 同和地区出身であることを告げること(カミングアウト)の意味を考えるとともに、同和地区出身であることで正当に認められないことが差別であることを考える。(人権問題の独自性)
- 同和地区出身であることを告げる必要はないが、ときとして告げざるをえなくなる社会的背景に部落差別の現実があることに気づく。
- 人を尊重するという個人の尊厳が大切にされた社会を作るためになにが大切かを考える。

キーワード 尊重、尊厳、カミングアウト、同和問題、結婚、葛藤

準備物

- ワークシート①～⑥ 1人1枚
- クリップボード 1人1枚
- ホワイトボードと専用マーカー(黒板も可)

プログラムの流れ

- 5分** 1. 趣旨とルールの説明 ● 学習の目標や進め方などの共通認識を作る。
- 15分** 2. 同じところでビンゴ ● 同じところがあることと違いがあることでどう感じるかを体験する。
- 25分** 3. 私を紹介 ● 自己紹介を通じて、人を尊重することが個人の尊厳という人権につながることを、尊重しないことが差別につながることを考える。
- 25分** 4. クイズ 同和問題は今 ● 人を認めないことの1つに同和問題があること、部落差別の現実を学ぶことで、同和地区出身を伝えるということの意味を考える。
- 20分** 5. だれもが尊重される社会のために ● 同和問題の解決から、人が尊重されるための社会づくりの方向を考え、学んだことをふりかえる。

時間

詳細な手順

ポイント

スタート

1 趣旨とルールの説明

5分



今日は、同和問題を題材にしながら、人を大切にすることの意味を考えてみます。

学習の流れは、①同じところでビンゴ、②私を紹介、③同和問題は今、④誰もが尊重される社会のためにランキング、です。

進め方は、参加体験型学習で進めていきます。参加者が主体となって話をしながら、お互いの学びあいの中で学習を進めるものです。できる範囲でけっこうですので、

※会場設営については、イスのみで半円型にするとうい。P6を参照。

• 学習のテーマを明確にする。

• 参加体験型学習の説明と、参加体験型学習が初めての参加者の不安が少なくなるようにする。

参加をしてください。

そのために、3つ、お願いがあります。この場では、「協力・尊重・守秘」をルール(約束)としたいのです。

●「協力・尊重・守秘」と板書する。



「協力」とは、おたがいに学ぶために協力しあいましょう、ということ。「尊重」とは、それぞれのあり方や意見・思いを尊重しましょう、ということ。「守秘」とは、ここで出された個人の経験や考えはこの場にとどめる(外に持ち出さない)、ということです。

5分
経過

2 同じところでビンゴ

15分

説明と個人記入5分、ビンゴゲーム5分、感想の共有5分



はじめに、自分と同じところ探しをします。他の人と同じところがあるかどうかを、「同じところでビンゴ」をやりながら考えてみたいと思います。

シート1を個人記入する

●シート①を、1人1枚配付する。



まず、シート①の1から9までの質問に答えてください。時間は2分です。

ビンゴゲームをする



では、書き込んだシート①を持って、会場内を歩き回り、出会った人に、自分の名前を言ってから1問だけ質問します。相手の答えが自分と同じならばそのマスに○をつけてください。終われば、次の相手を探して移動してください。

書いた○が縦、横、斜めに1列に並んだらビンゴと言って、早い人から席に座ってください。座る席は、前の端から後ろに順番に座ってください。

やり方で質問はありませんでしょうか。

では、はじめてください。ゲームの時間は5分です。

●ビンゴゲームをやってもらおう。



では、終了です。

感想を共有する



いかがだったでしょうか。感想を紹介していただけますでしょうか。

早くに座られた方、いかがでしたでしょうか。

●1、2人に感想を聞く。

- 同じことで安心があったり、違うことで不安があったりということを考える。

- 書けたかどうか、参加者の様子を見る。

- やり方についての質問があれば説明するなど、やることがうまく伝わったかどうか注意する。

- 動き回ることが不自由な参加者には、座ったままで紹介をしてもらう。

- 参加者の半数くらいが座ったり、時間になったらしたら、終了する。

- どのような状況があってビンゴになったかを共有するため、早く座った人から聞いてみる。

15分
経過



なかなか座れなかった方はどうでしたか。

- 1、2人に感想を聞く。



同じであることでうれしかったり、安心したり、逆に同じでないことに不安を覚えたり、寂しくなったりといったことがあるかもしれません。

このゲームでは、同じ人が多くいると有利になり、少なければ不利になるということがありました。このようなことは、日常生活の中でもあると思います。

- つぎに、なかなか座れなかった人から意見を聞き、早く座れた人との状況を対比させてみる。

20分
経過

3 私を紹介

25分

グループ作りと説明3分、個人記入3分、グループで自己紹介5分、共有4分、
「認められない」事例紹介5分、グループでAさんの不安の背景を考える5分

グループを作り、説明とシートへ個人記入をする



では、4、5人のグループになって、机を囲んで座ってください。グループは、前のビンゴで早く座った人と、なかなか座れなかった人とがまざるグループになってください。

- 机を囲んで4、5人で座ってもらう。



これから4つの項目で自己紹介をしながら、違うところがある人と人との関係を考えます。

- シート②を1人1枚配付する。

シート②の4つの項目で自己紹介します。まず個人でキーワードだけを記入してください。時間は3分です。

グループで自己紹介をする



では、グループで自己紹介を始めます。自己紹介する人は、簡潔に紹介をしてください。

聴いている側の方は、自己紹介をじっくり聴いてください。そして、自己紹介が終わったら、紹介の順番の次の人が、その紹介の内容について1つを誉めてください。誉めの言葉が終わったら、次の人が自己紹介を始めてください。

やり方で質問はありませんか。

- 質問があれば答える。



では、始めてください。

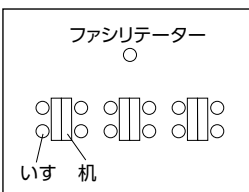
- 自己紹介をしてもらう。

全体で共有する

- 先のビンゴゲームで先に座れた人と、なかなか座れなかった人とが同じグループになるように考えると、グループの雰囲気にも幅ができる。


- 机は、2台をくっつけてもよい。

会場設営




- 自己紹介が、自分の大切な要素を考えることになり、「自分」を大切にすることにも関わることを考える。

- 相手を尊重した聴き方である「傾聴」を体験する。
- 自己紹介で出された自分の大切な要素を認める、認められるという体験をする。
- ファシリテーターが自分の自己紹介をしてみせてもよい。


 自己紹介は終わりましたでしょうか。自分のことを紹介して誉められたときはいかがだったでしょうか。

●数人に感想を聞いてみる。


 誉めることは、相手を受け止め、それを認めること、尊重することにつながると思います。これは、相手を個人の人間として大切にすること、個人の尊厳という人権の考え方につながるのではないのでしょうか。

35分
経過

「認められない」事例を知り、不安の背景を考える

 しかし、認められないときもあります。1つの事例を紹介します。

●シート③を配付して、読み上げる。

 このAさんは認められ尊重されているのでしょうか。どこに住んでいるかを聞かれるために、同和地区出身ということをおっしゃるか言わないかと悩んでいます。

このように、生まれや住んでいるところが同和地区だからということでその人を否定して尊重しないのが部落差別の1つといえるのではないのでしょうか。

では、なぜこのAさんは不安なのでしょう。その理由について、グループで話し合ってください。時間は5分です。

ありがとうございました。

- 不当な理由でその人を認めないことが差別になることを考える。
- 同和地区出身を言うことへの不安がどこからくるのかを、次の「同和問題は今」で考えるため、不安の背景にあるものに注目する。


45分
経過

4 クイズ 同和問題は今


25分

説明とシート④の個人記入5分、グループでの共有5分、解答の紹介5分、シート③同和地区出身であることを告げることを悩む背景を考える5分、全体共有5分

クイズの説明とシートへ個人記入をする


 では、なぜ「どこに住んでいるか」が気になり、同和地区出身者が出身であることを言おうか言わないか悩まなければならないのでしょうか。その社会的な背景を、三択のクイズをしながら考えたいと思います。

●シート④を1人1枚配付する。

 では、読み上げますので、答えと思われるところに○をつけてください。

●シート④の問題を順番に読み上げる。

グループでの共有と解答を紹介する


 では、書いた答えをグループで紹介してください。また、それを選んだ理由も紹介してください。時間は5分です。

では、現実はどうなのか。

- 個人的な悩みではなく、社会の差別が背景にあることを考える。

- 解答を紹介して順番に読み上げる。
- シート⑤を配付する。

カミングアウトを悩むAさんの背景を考える


 クイズでみてきたように、同和地区出身だからその人を認めないという部落差別は存在しています。しかし、差別をなくそうとする取り組みも進められてきていて、改善されてきている面もあります。今は、部落差別をなくし、同和問題を解決する取り組みの途上であるといえます。

では、シート③の事例に戻ります。


クイズで見たような現実があるという背景を考えると、Aさんが同和地区出身を言おうか言うまいかを悩まなければならないのは、どうしてでしょうか。感じたこと、考えたことを話しあってください。5分くらい時間をとります。

その後、いくつかのグループから、出たことを紹介していただきます。

全体で共有する

 では、グループでどのような話が出たかを紹介してください。

- 数グループから、話し合いの中での感想や意見を紹介してもらおう。

 必ずしも同和地区出身であることを言わなければならないということではありません。しかし、それを言おうか言うまいかを悩まなければならない背景として、社会に差別の現実があるということだと思います。

- 部落差別が存在していることを考えてもらうとともに、差別をなくすための取り組みにより、改善されてきているところもあることを伝える。これによって、次の活動のAさんが同和地区出身を告げることで悩まなければならない背景とつなげる。

- 同和地区出身を告げざるを得ない背景には、本人の強さの問題ではなく、社会に部落差別の現実があることを考える。


5 だれもが尊重される社会のために ランキング

20分

ランキングの説明とシートの個人記入5分、グループでの話し合い10分、まとめ5分

ランキングの説明と個人記入をする

- シート⑥を1人1枚配付する。

 では、誰もが自分を認められる社会にするために、どのようなことが必要でしょうか。

同和地区出身者や同和地区を避けることなく、同和地区出身者がその出身をためらわずに言えるような、だれもが自分を認められる社会にするため、次のような取り組みがあります。

あなたは、どの取り組みを大切だと思いますか。まず個人で作業をしてもらいます。大切だと思うことから、「学習」「啓発」といったキーワードを、□に上から順に入れてランキングを作ってください。時間は3分です。

- 差別をなくすための行動につなげることを考える。

- 取り組みは、社会に求めることと、自分ができることとの両方を考える。

- 問題解決のための取り組みは、いくつもあるということに気づく。
- それぞれの取り組みを合わせていくことを学習する。

グループでの話し合い



次に、あなたが考えたランキングとその理由について、グループで紹介してください。

そして、グループで出されたランキングについて、感じたことや考えたことを話し合ってください。

10分ほど時間を取ります。

85分
経過

まとめ



差別をなくして誰もが尊重される社会づくりには、さまざまな取り組みがあります。その取り組みは、社会で取り組むことであったり、自分が取り組むことであったりします。

自分が大切だと思うところから、取り組んでいただきたいと思います。

今日は、同和問題を取り上げて、同和地区出身であることを表明することの不安や悩みから、相手を尊重することが尊厳につながり、尊重せずに否定することが差別につながることを考えてきました。

差別することなく相手を尊重すること、そのような社会を作っていくこと、そしてそのための私たちの行動を大切にしたいと思います。

同じところでビンゴ

[進め方]

- ①次の1から9までの質問に教えてください。
- ②出会った方と1人1つずつ質問と自分の答えを紹介しあいます。
- ③紹介された答えと一致した人は、そのマスに大きな丸を書いて下さい。
一致は厳密に一致しなくても、同じようなことでも結構です。
- ④書いた○が縦、横、斜めに1列に並んだらビンゴと言って席に座って下さい。

1	2	3
名前の頭文字は 五十音で何行？ _____	好きな色は？ _____	好きな季節は？ _____
4	5	6
好きな果物は？ _____	うどんとそばでは どちらが好き？ _____	好きなペットは？ _____
7	8	9
生まれた月は？ _____	生まれた都道府県は？ _____	住んでいる市町村は？ _____

私を紹介

[進め方]

- ①次の4つの窓に自分の紹介を記入してください。
- ②自分の紹介をグループで順番にします。
- ③紹介をじっと聴いて、次の順番の人が自分の紹介した人に、誉める言葉を一言返します。
- ④これを順番に進めていきます。

(どこからきたか)

(名 前)

(最近うれしかったこと)

(大切にしていること)

「不安やなあ…」

[エピソード]

Aさんは、これまで交際していた相手と結婚をしようということになりました。そのために、Aさんが結婚相手の親に結婚したいことを伝えに行くことを、2人で話し合いました。

Aさんは同和地区出身であったので、そのことを結婚相手の親に言わないといけないかどうか悩みました。「はじめに言っておかないで、あとで反対されたら…。」「でも、出身って言わなければならないのか。それで差別するほうが悪いんじゃないのか…。」と、考えがめぐりめぐっています。

結婚相手の親は、いつも家で「結婚する相手がどこのどんな人か、しっかりと見ないと。妹も結婚せなあかんし。」と口癖のように言っているそうです。

結婚相手は「だいじょうぶやで」と言いましたが、Aさんはポツリと、「不安やなあ…」とつぶやきました。

[問]

Aさんは、なぜ不安なのでしょう。

クイズ 同和問題は今

[進め方]

- ①同和問題の現状を説明した次の説明について、正しいと思うものに○をつけてください。
- ②その結果を、グループで紹介しあってください。

1 子どもの結婚の際に、相手が同和地区出身かどうか気になる人はどれくらいでしょうか。

- 1 0%
- 2 10%
- 3 20%

2 住宅の購入や入居では、同和地区を避けるという人はどれくらいでしょうか。

- 1 0%
- 2 30%
- 3 60%

3 同和地区出身とそうでない人との結婚で反対されることは、増えているでしょうか、減っているでしょうか。

- 1 減っている
- 2 増えている
- 3 変わらない

4 同和地区出身とそうでない人との結婚は、増えているでしょうか、減っているでしょうか。

- 1 減っている
- 2 増えている
- 3 変わらない

クイズ 同和問題は今 解答

1 子どもの結婚の際に相手が同和地区出身かどうか気になる人はどれくらいでしょうか。

3 20%

同和地区出身かどうか気になる (21.2%)

子どもの結婚相手が同和地区出身者かどうかを気にする人は21.2% (5人に1人くらい)で、いまだに結婚における部落差別は存在しています。

2 住宅の購入や入居では、同和地区を避けるという人はどれくらいでしょうか。

3 60%

避けると思う (30.5%)

どちらかといえば避けると思う (24.5%)

住宅の購入や入居の際に、同和地区を避けるという人が半数を超えており、同和地区に対する忌避意識が根強いことがわかります。

3 同和地区出身とそうでない人との結婚で反対されることは、増えているでしょうか、減っているでしょうか。

2 増えている

反対された人 40~59歳 (19.7%)

15~39歳 (24.7%)

同和地区出身とそうでない人との結婚で、同和問題に関わって反対されることは減ってはならず、部落差別はなくなっはけません。

4 同和地区出身とそうでない人との結婚は、増えているでしょうか、減っているでしょうか。

2 増えている

夫婦一方が同和地区 50~59歳 (45.1%)

15~29歳 (69.3%)

結婚での反対は減っていませんが、若い世代になるにつれて同和地区出身とそうでない人との結婚は増えています。結婚に至った場合でもなんらかの差別があり、その差別をのりこえているのです。

解答の出典は、2012年(平成24年)3月現在の最新データです。

1・2…大阪府人権問題に関する府民意識調査/2010年(平成22年)

3・4…大阪府同和問題の解決に向けた実態等調査/2000年(平成12年)

だれもが尊重される社会のために ランキング

[進め方]

同和地区出身者や同和地区を避けたりすることがなく、同和地区出身者が出身をためらわずに言えるなど、だれもが認められて尊重される社会にするため、次のような取り組みがあります。

①あなたは、どの取り組みが大切だと思いますか。

大切だと思うことから、「学習」「啓発」といったキーワードを、□に上から順に入れてランキングを作ってください。

②次に、あなたが考えたランキングをグループで紹介しあってください。

③グループで出されたランキングについて、感じたことや考えたことを話し合ってください。

[取り組み]

キーワード

学習 うわさや偏見にとらわれずに真実を学ぶ学習を進める。

啓発 人権問題についての社会の関心を高める啓発を行う。

協働 同和地区の人とさまざまな取り組みを一緒に行う。

意志 差別を受けたりする人が差別に負けないように強くなる。

指摘 差別や人権侵害に出会ったときにその間違いを指摘する。

法律 部落差別などの差別を禁止する法律を作る。

[ランキング]

…………… 一番大切なこと1つ

…………… 次に大切なこと2つ

…………… あとの3つ

アイデンティティとカミングアウト

～自己・他者・社会との関わりのなかで～

大阪教育大学 森 実

「尊厳」、「自分」、「人間関係」を考える切り口としてのカミングアウトの土台には、自分のことをどうとらえているかというアイデンティティの問題があります。ここでは、アイデンティティという概念をめぐる議論になりそうな事柄と、カミングアウトの過程で重要になる事柄の一端を述べておきます。以下の記述が、学習などの場での議論をうながすことになれば幸いです。

[1] アイデンティティとはなにか？

アイデンティティとは、「これを欠いては自分ではないと思う属性や特性」をさします*1。

その1つは、自分のルーツや集団への帰属に関わります。たとえば、「自分は男なのだ」と強く感じている状態を、「わたしのアイデンティティは<男である>ということだ」と述べることができます。男という集団の一員だという自覚です。しかも、アイデンティティという場合、この属性は自分が何者であるかの中核をなすこととなります。本人にとっては、人権思想で語られる尊厳や誇りの根源を構成するといつてよいでしょう。

この意味でのアイデンティティには、肯定的な感じ方と否定的な感じ方の両方があります。「男に生まれてよかった」という肯定的な思いをもつばらもっている場合と、「男に生まれなければよかったのに」という否定的な思いをもつばらもっている場合です。現実の思いは、「男である」という属性について、肯定的な面と否定的な面の両方を抱えながら生きていることが多いでしょう。ときには、そうした引き裂かれるような思いを抱いているからこそ、尊厳や誇りの根源となるのです。

「属性や特性」をなす今1つのものは、趣味や好みなどに関わります。「私は映画を見るのが好きだ」「私は穏やかな性格だ」といった特徴付けです。こちらは「自分らしさ」という言葉で語られることも多いといえます。最近では、企業などが「コーポレートアイデンティティ」といった言葉で、自社がどのような企業であるかを端的に打ち出している場合があります。それも、企業がどのようなことを大切にしようとしているのか、その中核的な事柄を示しています。

人権学習などで重要になるのは、どちらかといえば1つめの意味でのアイデンティティです。そしてこの1つめこそが、現代的な意味でアイデンティティという概念を提唱し始めたエリック・エリクソン*2という人が重視した面でもあります。そこで以下では、この1つめの意味でのアイデンティティを中心に述べます。

[2] アイデンティティと人権

アイデンティティというのは、多くの場合、社会から押しつけられるところから始まります。たとえば、「自分は男なのだ」というアイデンティティも、幼い頃から周りの人をモデルとしつつ、「男なんだから泣いてはいけない」「男なんだからはっきりしなさい」といったメッセージを刷り込まれることによって次第に形成されます。好きでそれを選ぶというわけではないのです。「なんだかいやだなあ」と居心地悪く思っている場合もあるでしょうし、「自分は男らしくていい」と自己肯定的に感じている場合もあるでしょう。このようにしてアイデンティティは形成されるものですから、幼い頃、その集団に属しているということや、そのことに関連して抱く思いは多かれ少なかれ自分にとって「当然のもの」です。

けれども、思春期になるころから、次第にそれを自覚的に受け止めるようになります。自分を「男らしくない」

と感じている人のなかには、「男らしくならなければならない」と自分を自覚的に鍛えようとしはじめる人も出てくるでしょう。あるいは、男であることが決定的にイヤになる人も出てきます。スカートをはいたりドレスを着たりしたい人や、自分の身体がオスのつくりであることに耐えられなくなる人がいます。多くの人はとまどいながら、自分の身体的な性別を受け止めあるいは否定し、それにふさわしいあるいはそれとはズレた自分のあり方を模索していきます。

思春期を超えてある時期になれば、自分が男であるということに関連して、自分のスタンスを確立するようになることが多いと言えます。「自分は、スポーツも得意じゃないし、さっさと物事を決断するタイプでもないから、あまり男らしくないと自分で思う。だから男であることを居心地よく感じていない面も多くあるけど、自分は男だということそれ自体まで否定しようとは思わない」というふうに、さまざまなズレを感じながらも、多くの男性は「男である」ということを受け入れるようになるのです。

社会的差別があると、被差別集団に属する人のなかには、青年期になってこのようなアイデンティティの確立に他の人よりも時間と努力を必要とする人たちが出てきます。たとえば、同性愛者の場合、周りが異性を好きになり、異性とつきあい始めるころから、「自分はおかしいのではないか」といった感情を抱くようになっていきます。それは、「異性愛こそ自然で正常だ」「異性愛以外あり得ない」といったメッセージを社会が発信しているからです。そのような傾向の強い社会では、同性愛者は自己否定の思いを強いられやすくなります。

しかし、自己否定の思いを抱きながら過ごしている人も、その思いを覆すような出会いや学習があれば、次第に自己を肯定するようになっていきます。「同性に恋愛感情を抱くなんて、自分だけだ」と思っていた子どもや若者が、同じように思っている人に、インターネットなどを通して出会います。また、同じ性的指向をもつ人たちのコミュニティに入っていきます。そうして、自分の性的指向が決して自分だけではないこと、多くの同性愛者が(ときには自分のアイデンティティを隠して)さまざまな組織で活躍していること、そして、それらの人たちが互いを認め合って生きていることを知るのです。素敵なお人たちに会い、確かな理論的裏付けを得ることにより、価値観がひっくり返ります。自己否定の度合いが強かった人ほど、いったん価値観が反転すると自己肯定の度合いが強くなりやすいといえるかもしれません。

このように、被差別者にとってのアイデンティティ確立への典型的な流れは、自己否定から出発した人が、次第に自己肯定へと変革していく姿です。アイデンティティというのは、「なにか素敵なおアイデンティティを自分で自由に選ぶ」というものではありません。社会から強いられたアイデンティティを逆に自己肯定の根源としてとらえ直すというものなのです。

なお、ここで述べてきた被差別集団のことを英語では多くの場合マイノリティグループ、もしくはたんにマイノリティと呼び、被差別集団ではない人たちのことをマジョリティグループやドミナントグループ、もしくはたんにマジョリティと呼びます。この文章でも、この意味でマイノリティやマジョリティという言葉を用いることがあります。

[3] カミングアウトとはなにか？

カミングアウト(またはカムアウト)とは、明かしていなかった自分のアイデンティティを他の人に告げることです。これは、もともと「カミングアウト・オブ・ザ・クロゼットComing out of the closet (押し入れの中から出てくること)」という言葉が略した表現です。社会的強制により「押し入れの中にいる」かのように追い込まれ、自分のある面を隠していたけれども、その隠していた面を他者や社会全体に向けてさし出していくという意味です。最初は同性愛者が同性愛者であると明かすことに対して使われました。

同性愛者にとって、自らが同性愛者であると表明することは、かなり大きな危険を伴ってきました。多くの社会において、同性愛者に対する差別が根強く存在してきたからです。とりわけ社会の主流をなす組織に属している同性愛者にとってカミングアウトはためられるものでした。明かしたことによりその組織や社会全体から排除されるかもしれないからです。1970年代まで同性愛が医学的に病気であるとされていたことも、カミングアウトをしにくくした要因の1つだったといえるでしょう。自分で自分のことを「病気」や「異常」と思っていると、自己嫌悪に陥りやすくなります。

このことに関連して、カミングアウトするかどうかを悩まなければならない状況におかれているという点でマイノリティの側に一方的な負担が強いられていることを忘れてはなりません。マジョリティの側は、自分の生まれや生い立ち、本当の名前、性的指向、障がいの有無など、気にせずに話すことができます。話したからと言って、

不利益を被ることがほとんどないからです。ところが、マイノリティにとっては、これら1つひとつについてどうするか判断が求められます。そして、話したとしても話さなかったとしても、リスクが伴うのです。一方はなんの苦もなく話せるのに、他方は不安や苦勞を強いられる。いわば、マジョリティが特権をもってしまっていることとなります。この不公平な状態を変えるには、社会全体の状況を変えていくことが不可欠です。そこへつながる第1歩は、マジョリティの側が自らの特権に気づき、その不当性を変えようと思いはじめることです。

国際的に、カミングアウトが広く取り上げられるようになったのは、HIVに感染した人たちが問題の重要性を社会にアピールし、同じHIV感染者を励まそうとして、自分も感染者であることを明かしたことがきっかけの1つです。はじめのころ、カミングアウトした多くは同性愛者でした。

日本では、血液製剤によりHIVに感染させられた人たちが、薬害エイズとして問題を広く訴えるために、そのことを社会的に発信しました。そのことをさしてカミングアウトという言葉が広く使われるようになり、社会的に大きなインパクトを与えました。その後、被差別部落出身者(以下、部落出身者)や在日韓国・朝鮮人(以下、在日コリアン)などが自分の立場を明かすことをカミングアウトとも呼ぶようになったといえます。さらにその後次第に、被差別者だけではなく、他者に隠している出生や身体的特徴、社会的立場などを明かすことをカミングアウトと形容する場合も出てきました。

他者に自分の意見や感情、生き立ちや暮らしなど、見ているだけではわからない事柄を伝えることを自己開示といいます。ですからカミングアウトも自己開示の一種です。異なるのは、カミングアウトの場合には、開示する内容がなんらかの意味で不利益につながりかねない事柄だけに限定して用いられるということです。

[4] 立場宣言とカミングアウト

日本では、部落出身者や在日コリアンであることなどを自己開示することを、立場宣言(出身者宣言・本名宣言)などと呼んできました。子どもがクラスで立場宣言をする。職場で同僚たちに立場宣言をする。どちらかといえば集団に向けて自分の立場を告げることが立場宣言とされてきましたが、恋人に自らの立場を告げるという場合も立場宣言という言葉で語られることがありました。立場宣言にはさまざまな場面が含まれていたのです。

また、立場宣言するときの内容も、多くの場合、自分が被差別の立場にあることだけを語るのではなく、そのことによりこれまでどんな思いを抱いて生きてきたか、自分の家族がどんな生き立ちや生活を送ってきたか、なぜ自分が今この立場宣言をしているのか、聞いている相手になにを期待しているのか、といったこともあわせて述べるのが含意されていました。立場宣言に関連して、多くのことが論じられ、整理されてきました*3。この財産をさらに整理し発展させる作業も求められています。

それに対してアメリカでは、アフリカ系アメリカ人やヒスパニック系アメリカ人など、社会のおもなマイノリティグループが、民族的なマイノリティであったため、わざわざ自己開示しなくても、名前を聞いたり本人と会ったりすればたいい分かる存在だったのです。それで、民族的マイノリティについては、あまり自己開示が問題になってこなかった面があります*4。結果として、同性愛者など性的マイノリティ*5、さらにHIV感染者などの問題がクローズアップされるようになって初めて、カミングアウトという言葉が使われるようになったといえます。アメリカにおいては、被差別者の自己開示をめぐる議論も、そこから活発化したといえるでしょう。

同性愛者など性的マイノリティの場合、部落出身者や在日コリアンなどと似た状況にあります。1つ大きく異なる点があります。それは、家族に対するカミングアウトという問題です。部落出身者や在日コリアンの場合、たいい家族も同じ立場であり、自分だけが異なることはほとんどありません。しかし、性的マイノリティだと、逆に多くの場合は家族のなかでも孤立しています。家族に対してどうカミングアウトするのかという点も大きな課題となります。カミングアウトした後での家族との関係についても、葛藤や悩みを抱えている性的なマイノリティの人は多くいます。

[5] アウティングの問題点とプライバシー権

カミングアウトが自分で自分に関する事柄を開示することをさすのに対して、他者に関することを本人の承諾

を得ずに曝^{さら}すことをアウトティングといいます。

今日的なプライバシー権は、「自分に関する情報を自分でコントロールする権利」とされています。アウトティングでは、本人の承諾を得ずに曝すのですから、これはプライバシー権を侵害するものに他なりません。たとえば、誰かのことを「部落出身である」と報告すれば、それはアウトティングであり、明らかなプライバシーの侵害です。しかも、「部落出身」という概念そのものが曖昧^{あいまい}なかで、誰かを部落出身とアウトティングすることは、明確な根拠もなく差別の標的とすることを意味しています。そのようなアウトティングは、結婚などの場面で、何度も悲劇をもたらしてきました。

かつて、プライバシー権は「私生活に踏み込まれない権利」を意味していました。しかし、情報化が進展するもて、どこまでどうすることが私生活に踏み込むことなのか、定かでなくなりました。たとえば、インターネット上であれば、名前を明かすだけでも不利益が発生しかねません。逆に、さまざまな人とつながろうとすれば、ある程度リスクを覚悟しながら自分を開示していくという戦略をとることもありえます。では、そのような人たちの言っていることを他の人がどんどん広げてもいいのでしょうか。一律のモノサシをあてがって、すべての人の「私生活」を同じ基準で管理することは不可能なのです。プライバシー権も、もっと積極的な意味合いの概念に組み直さなければ、情報化社会に対応できないということになりました。

そこで、OECDが1980年(昭和55年)にプライバシー 8原則を打ち立てました。その基本原則が「自分に関する情報を自分でコントロールする権利」という考え方です。この原則に立てば、他者に関するなんらかの情報を伝えるまえに、本人の了解を得ておく必要があるということになります。たとえば、マスメディアなどの企業や、多数の会員など関係者のいる団体は、誰かについて情報を持っているならば、そのことを本人に伝えなければならないのです。そして、本人から「わたしに関する情報を持たないでほしい」といわれれば、その情報を破棄しなければなりません。「持っていてかまわない」といわれれば、自分たちの持っている情報が正確で最新であるかを本人に確かめてもらい、公開してかまわない範囲を決めてもらうなど、更新をしてもらう必要があります。日本における個人情報保護法も、このような考え方をベースにしています。

この変化により、個々人に求められることが大きくなりました。以前のプライバシー観に立つなら、個人はとりあえずなにもする必要がありません。マスコミなどが私生活に踏み込むかどうかだけが問題だったのです。それに対して現代的なプライバシー観に立てば、個々人がどのような場面で自分のどのような面^{つちか}をどれくらい出すのかを判断しなければ権利を行使できないことになります。その判断力をどこかで培わなければならないことになったのです。そんな力が自然に身につくとは考えられません。幼い頃から自己開示の経験を重ね、どのようなときにどのような内容を自己開示することが望ましいのかについて、体験的に学んでいく必要があります。もちろんそのことは、他者のプライバシー権を守るためにどうすればよいかということも学ぶことにも通じます。他者に1つひとつ判断を求めながら、その人に関する情報をどこまで出してよいのかを確認しなければならないのです。

アウトティングは、このようなプロセスを踏まずに、かつてに他者に関する情報を他の人に伝えることを意味しています。個人情報保護法では、500人以上の情報を持っている組織に対してその情報の扱いを定めているのですが、「自分に関する情報は自分でコントロールする」という原理は個人が持っている他の個人に関する情報についても適用されるべきです。

[6] カミングアウトの過程で大切にされるべきこと

カミングアウトで最も大切にされるべきことは、周りに強いられて行う筋合いのものではないということです。それぞれの場面や相手との関係がどのようなもので、その関係をどのようにしたいのか、そのような点に関する本人の判断を土台に据えて進められなければなりません。本人が言う必要がないと感じている場面でカミングアウトする必要はまったくないのです。周りの人たちの働きかけも大きな意味をもちますが、それも、カミングアウトする方がよいかどうかについて本人が判断する手がかりになるとか、アドバイスになるなどの域を出ません。

さらに言えば、マイノリティのZグループに属するAさんがなんらかの会で「Aさん、Zグループを代表して意見ををお願いします」などと求められる場合があります。しかし、どのような集団に属している人であれ、その集団を代表して発言できるわけではありません。このような事態が発生するのは、そのZグループに属する人が、その会合ではAさん以外にいないと思われる場合でしょう。あるいは、そのグループでは、同じ集団

に属している人であっても考え方や経験は同じではないのだという発想が欠落している場合です。そもそも、本人の意向を抜きに、いきなり尋ねられても困ります。アウトティングにもつながります。

このように考えれば、カミングアウトにかかわる過程で一番問われているのは、周りにいる人たちのあり方だといえます。心のドアのノブは内側にしかついていないのです。外から誰かがこじ開けることなんてできません。だから、周りができるのは、当事者本人からみて「この人になら語りたい。言わずにいられない」と思えるような人物になることだけ。そう語る人がいます。

本人の判断を土台に据えたものであっても、カミングアウトの過程では、多くの要素が絡み合い、さまざまな問題が発生しやすいといわざるをえません。その一方で、もしもカミングアウトが成功すれば、カミングアウトした人にとっても、それを受けた人にとっても人生が大きく広がる場合があります。ですから、どのようなときに問題が発生し、どのようなときに人生が広がるのか、違いが発生する要因を整理することは重要だといわなければなりません。

カミングアウトと一言で言っても、その目的や場面は大きく異なります。カミングアウトする人の目的に即して考えるだけで、少なくとも次の5種類ぐらいには分かります。そして、それぞれの目的によって、聞いた側に期待されることもさまざまに違ってくる可能性があります。言い換えれば、以下にあげる目的の達成が見込めないならば、カミングアウトする必要もありません。そして、カミングアウトしない(あるいはしなかった)ことについて、周りがなにかを言えるわけでもないといえるでしょう。

①助けを求めるためのカミングアウト(精神的・物的援助を求める場合)

先に述べたようにカミングアウトは、不利益を招きかねない自分の属性を他者に明かすことをさしています。その属性をもっていることによって、本人はなんらかの困難を強いられている場合も多いものです。ときには、なんらかの財政的支援も必要としているかもしれません。困難について、誰かに聴いてもらい相談に乗ってもらえるなら、それだけでも支えになるという場合もあります。

このような場合のカミングアウトは、本人がどの程度、どのように行き詰まりを感じているかによって、するかどうか違ってきます。また、明かそうとする相手がどの程度自分の状況を受け止めてくれそうな人物なのか、判断の基準として重要になります。

聴き手の側からすれば、この場合には、相手がなにを求めているのかをていねいに聴き取らなければならないでしょう。もしも支えを必要としているなら、それがどのような支えであるのか。もしも問題解決を必要としているなら、どのような問題についてどのような解決をイメージしているのか。対話を通して整理していきたいものです。

残念なやりとりの1つは、「しんどさ比べ」や「苦労自慢」が始まることです。「しんどさ比べ」や「苦労自慢」とは、誰かがカミングアウトをしたときに、「あなたよりもわたしの方が大変な状況を経験している」といった返事を返すことです。後に続けて「そんなことで人を頼ってはいけない」といったセリフが加わることもあります。「しんどさ比べ」は、「助けを求めるためのカミングアウト」の場合だけではなく、以下に述べるようなカミングアウトの場合にも発生します。聴き手が「しんどさ比べ」の発想になってしまう原因は、差別を支える社会的仕組みやカミングアウトの目的をその聴き手がはき違えている、その聴き手自身が自分の問題を整理できておらず肯定的にとらえられていない、なんらかの事情でじっくりと聴くだけの精神的余裕がない、などです。「しんどさ比べ」をしはじめた人自身がなんらかの助けを必要としている場合も少なくありません。

②喜びを共有したいカミングアウト

さまざまな出会いや学習を通して、社会の中にいる自分自身の立場性が見えてきてスッキリすることがあります。なんだかモヤモヤしていた正体が、人権学習などを通して整理できたという場合などです。そういうことが発生するのはたいてい、単発の学習ではなく、継続的に同じ集団で活動し、学んでいる場合です。モデルとなる人が周りにいたり、周りの人からの支えや鍛えあいがあってスッキリしてきたのですから、こういう場合には、自分の感じている喜びを周りの人に語りたくなるものです。

このようなときに聴き手となるのはいっしょに活動してきた人たちですから、語り手の思いもわかりやすい場合が多いでしょう。「よかったね」「そんなことが聴けて、わたしも嬉しい」という言葉を思わず返したくなるのではないのでしょうか。

中学校や高校などで、生徒が自分のことをクラス全員に向けてカミングアウトすることがあります。その多くは、このように「喜びを共有したい」からこそするカミングアウトです。年度当初に行われるよりも、年度の途中

でなにかをクラスで達成した後などに思わず出てくることが多いといえます。知らない人に語るのではなく、ともになにかを達成した仲間意識があって語るのです。

このような場合にも、温度差はありえます。語る本人にとってはそのクラスの全員が親友のように思えていても、聞いている側にとっては、「なぜあいつがここでそんなことを言うのかわからない」といった感想を抱く場合です。

③より深い関係を求めてのカミングアウト

相手とのつきあいを今以上に深めるうえで、自分に関するこの情報を伝えることは不可欠だという場合があります。たとえば、結婚を意識する関係になっていて、その情報も相手に告げた上で2人の将来をいっしょに考えたいと思う場合です。自分がなんらかの被差別の立場にあり、このことが分かったなら相手はともかく家族や親戚からの反対もありうると推測し、あらかじめ伝えておかなければかえって問題が広がりかねないと判断する、あるいは、伝える相手自身がその内容を聞けば心変わりするおそれもあるという場合です。

この場合、カミングアウトしたことによって相手が去っていくかもしれないと思いながらするのです。しかし、一方で、カミングアウトしないままではかえって問題を複雑にしてしまうおそれがあるとも感じています。このような状況にある人は、あらかじめなんらかの意味の確かめ行為をしていることがあるものです。その問題について一般論として持ち出し、それに対して相手がどのように反応するかを事前に見ておく。自分と同じアイデンティティをもつ他の当事者と出会う機会をもち、そのときの相手の感想を聞いておく。そのようにして、自分のアイデンティティについて相手がどのような考え方をする人なのかを確かめていくのです。確かめ行為は、意図して行うこともあるでしょうし、偶然そのようになることもあるものです。

このようなカミングアウトでは、カミングアウトする側がなにを期待しているのか、その場で分かることが多いといえます。期待している内容をはっきりと告げる場合もあれば、言葉にはしない場合もあるでしょうが、言葉にしなかったとしても、文脈からそれが十分に読み取れるはずで

その後の関係でも、自分がカミングアウトした立場にあることをふまえて、そのことを互いに自覚しつつ関係を深めていきたいと考えているでしょう。だから、せっかくカミングアウトを経験したなら、そのあとの関係を通してどのように絆を深めることにつなげられたかが問われるのです。語った人と重なるような体験はないのでしょうか。あるいは語られた内容から、自分が知らず知らずのうちに加害者的な立場に立っていたことが見えてきたということはないでしょうか。その場ですぐに、でなくてもかまいません。重なること、つながることを返したいところです。

この場合、カミングアウトする側にとって期待はずれの返答は「そんなことは関係ない」「いちいち小さなことを気にするな」「これまでとなにも変わらない」といった言葉です。カミングアウトする側は、そうするまでにさまざまに悩んでいるものです。「いちいち気にするな」という発言自体が、悩んできたことを否定することになってしまう場合があります。そんな返事を返された上に、そのあとの関係でまったくその属性にふれないようなやりとりが続くなら、カミングアウトした側は失望するかもしれません。

④嘘をつきたくないというカミングアウト

自分の直面している問題状況が少なくともある程度は解決している場合、他の人とのつきあいの中で自分を明かしたくなることがあります。たとえば、親友になった人に対して、「自分がこのことを語らないでいるのは嘘をついているのと同じだ」と自分で感じてしまうような場合です。あるいは、「この人との間では、言わずに隠しておく方が不自然だ」と思えるような場合です。明かすことによってなにが起こるかについて不安がないわけではありません。しかし、それ以上に「言っておきたい」という気持ちが強くなっているのです。

このようなカミングアウトは、前に述べた「助けを求めるためのカミングアウト」とは異なります。本人の意識としては、特に助けなどは必要としていないからです。この場合、カミングアウトする本人にとってイヤなのは、聞いた相手から「腫れ物に触る」ように対応されることでしょう。たとえば、自分が「母子家庭である」ということを相手に告げたときから、相手が「無神経に母親のことを話して悪かった」と詫びはじめ、その後その相手は母親についてまったく話題にしなくなったという経験をした人がいます。

聴く側としても、もしもカミングアウトした側のスタンスが「嘘をつきたくない」ということであるなら、それに対する返事は「ありがとう。大切なことを語ってくれて」というだけでよいかもしれません。上記の例にあるように、聞いたことを勝手に「相手の弱み」と解釈して、それにふれないようなことをすれば、カミングアウトした側の思いを逆に傷つけてしまいかねません。

結婚して10年以上たち、子どもさんが2人いるあるご夫妻の話です。夫さんは部落出身で、妻さんは部落出身ではありません。妻さんは、夫さんが部落出身だとは知りませんでした。夫さんは結婚してから部落問題についていろいろと考え、学び、そのことを妻さんに語りたいと思うようになりました。妻さんからどんな返事が返ってくるかどきどきしながら部落出身であることをカミングアウトしました。「そんなこと関係ない」というのが返事でした。夫さんはほっとしたそうです。それまでと変わらない生活を続けられること、それを夫さんは望んでいたということでしょう。その後、妻さんは、部落問題についての学習や活動を深めました。

このように、もしもカミングアウトした側が、まったくこれまで通りの関係でよいと考えているなら、「そんなこと関係ない」という返事は、特に問題にならないかもしれません。聞いてほっとできる言葉になる可能性さえあるのです。このように、同じ返事であっても、カミングアウトした人の状態によって、どのように響くかは異なるものです。そこから関係をどう深めていくかは、聞いた側に大きくゆだねられています。

⑤自分を事例として問題を訴えるためのカミングアウト

最後に、自分を事例として社会的な問題を訴えるためにカミングアウトする場合があります。被差別者である人たちは、講演会や聞き取り学習の場などで、自分の体験や生い立ちを多くの人たちの前で語ります。この項目でイメージしている典型は、そのような場面でのカミングアウトです。語り手は、自分自身の体験の独自性と一般性をふまえながら、問題を語ろうとします。たんに理屈だけを聞くのではなく、1人の人の深いところでの思いをくぐらせながらの話を聞けるので、問題が具体的で心に響きやすくなります。

見知らぬ多くの人たちの前で語る場合、カミングアウトする人自身は、たいてい自分の問題をすでにかなり整理できていたり、心理的に解決できていたりするものです。だから、聞いている人たち全員が自分のカミングアウトを的確に受け止めてくれるとは想定していません。実際、せっかく話しても、期待するような感想が得られないこともしばしばあります。逆に言えば、自分の問題をまだ整理できていない状態なら、こういう形のカミングアウトはさけた方が賢明だということになります。

自分を曝しリスクを引き受けてでもメッセージを発信するのは、聴き手に考えてほしいからです。聴き手には、ぜひ、自分に引きつけて、自分と重ね合わせながら考えてほしいのです。聴き手のなかには、語り手と同じ面で被差別の立場にある人もいるでしょう。そうでなくても、話し手の体験が自分の体験に重なるという人もいるでしょう。話の内容を聞いて、自分の何気ない行為が人を追い込んでいたかもしれないことに気づいたという人もいるでしょう。自分の行っている活動が話し手の思いに通じると感じて嬉しかったという人もいるかもしれません。そのような返事こそが期待されているといえます。

「頑張ってください」「偉いと思いました」という返事は、多くの場合、自分を語った人を消耗させるだけです。「そのような返事をもらうぐらいなら、いっそ『しんどさ比べ』でもいいから反発される方がましだ。次の会話で深めていく可能性があるから」。そんな風に言う人もいます。なにを書いてよいか分からず、「頑張ってください」といった内容に止まるなら、まだ救いはあるかもしれません。問題なのは、「頑張ってください」や「話してくれたあなたは偉いと思います」という感想を話し手が期待していると錯覚している参加者がいるということです。そのような誤解は、話し手にとってきわめて残念なことだと推測できます。

カミングアウトを考えると、重要になる要素は他にもさまざまにあります。たとえば、どのような文脈で語るのかということです。相手とのこれまでの関係はどのようなもので、どれほどの期間、続いてきたのか。その直前になにがあって、なにをきっかけとして語るのか。あるいは、相手が何人で、その人たちはどんな意識を持っているのか。さまざまな要素が絡んで、カミングアウトの場が成り立っています。

[7] カミングアウトを左右する要因

このように見てくると、カミングアウトを左右するいくつかの要因があることが浮かび上がります。特に大きな要因は次の3つです。

第1は、世の中がその人のアイデンティティに関わる属性についてどのような価値判断をしているかという問題です。世の中がそのアイデンティティを否定的に見ていないなら、自己開示することにもさほどためらいはないことでしょう。でも、そんなときには、それについてカミングアウトという言葉を使うこと自体がそもそも適当では

ないかもしれません。もしも、世の中がそのアイデンティティを否定的にさげすんで見ているなら、カミングアウトはなんらかの意味でしにくくなりやすいと言わなければなりません。でも、そのような要素について自己開示することこそが、カミングアウトなのです。

第2には、世の中がどう見ていようと、本人が自分のそのアイデンティティをどう見ているのかという問題があります。世の中が否定的に見ている属性について、自分自身でも否定的に感じている場合には、カミングアウトには至らないことが多いでしょう。カミングアウトに至る場合にも、その目的は、「支えてほしい」「悩みに答えてほしい」といった性格が強くなりやすいでしょう。それに対して自分自身がその属性を肯定的にとらえ始めている場合には、本人の思いとしては、「語りたくなる」、または「語ってもかまわない」という思いになることが多いものと推測できます。

ただし、そういう思いには、さまざまな場合があることも重要でしょう。たとえば、部落出身の若い人たちのなかには、恋愛関係であれ友人関係であれ、つきあうときには初めから自分が部落出身だと言っておくという人がいます。そのことへの対応によって、相手がどういう人か、たちどころに分かるというのです。逆に、ほとんど言わないという人もいます。その人たちのなかには、「部落出身かどうかによってわたしの個性や値打ちが変わるわけではないから」と言う人もいます。両者とも、部落出身であるということが今の社会で不利益を被りやすい立場であることは認識しており、差別は見過ごさないという姿勢ももっています。しかし、具体的にどう行動するかということについては、一見すると大きく異なる向き合い方があるのです。

第3に、世の中の見方や自分自身の見方とは独自の問題として、今周りにいる人たちの価値観やその人たちとの関係があります。さきの項目で述べたことから分かります。周りの人たちの本人との関係は、カミングアウトにとって決定的な意味をもつことが多いと言えます。カミングアウトする人が「支えてほしい」と思っている場合であれ、「問題をしっかりとらえて自分に引きつけて考えてほしい」と考えている場合であれ、聴き手がどんな人であるかは決定的な意味を持ちます。

世の中がそのアイデンティティを否定的にとらえていて、本人もまだ否定的にとらえているという場合であっても、周りの人たちが、そのことを受け止められる状態であれば、本人は語る可能性も高いのです。

また、世の中がそのアイデンティティを否定的にとらえていても、本人が肯定的にとらえており、周りも肯定的にとらえていれば、いちいちカミングアウトする必要もない場合があります。自分自身が自分のアイデンティティのとらえ方を否定から肯定へと反転させたばかりのころは、他の人の生い立ちや思いについても聞きたくなるものです。「そういう反転がない人は信じられない」と思っている時期さえあります。しかし、他の人も多くは同様の反転を経験していることが分かってくれば、いちいちカミングアウトしたり、相手にカミングアウトを求めたりはしなくなることも多いと言えます。

[8] 「カミングアウトはビカミングアウトだ」

「カミングアウトはビカミングアウトだ」といった人がいます。つまり、「外に出てくる Coming out」というだけではなく、「変わる Become」という意味合いを含んでいるというのです。言い換えると、「自己を明かすことは、自分自身が、そして相手との関係が変わっていくきっかけとなるのだ」というほどの意味合いです。カミングアウトは以上のようなものですから、それをしたことによって、本人と相手の関係が大きく変わっていく場合があります。すでにふれたように、むしろ関係が深まることを期待してカミングアウトしているという場合が少なくないのです。なお、ビカミングアウトというのは和製英語で、英語にこのような言い方はないようです。

ある学生は、母子家庭としてカミングアウトすることをためらいがちになっていました。中学校のころから、「自分の家族に父親がおらず、母子家庭で育ってきたのだ」と友だちに言うたびに、なんだかまわりから「かわいそうな子」と見られているような気がしていたからです。しかも、露骨にそう言われるわけでもありません。そう直接に言われれば逆に言い返しやすいのかもしれませんが、なにも返されずに、なんとなく腫れ物に触るような対応をされているように感じていたのです。そのため、しだいにカミングアウトするのがイヤになってきていました。

その人が大学に入って、友人とのやりとりのなかで、母親のことが話題になりました。その友人から、「あんたとはどうなん?」と訊かれたので、おもわず「うん、うちは母親おれへんねん」と返しました。すると、その友人は、「ふうん。なんでなん? だって、大事な友だちのことやから、ちゃんと知っておきたいもんね」と返してきました。その言い方が率直で、誠実な関心を寄せてくれていると感じられたので、その人はすごく嬉しくなった

そうです。母親の話で盛り上がり、2人の絆は、このことをきっかけにいっそう強まりました。

ある同性愛者の男子学生は、同級生の女子たちと恋愛についての話になるたびに、自分の「彼」を「彼女」と言い換えて話していました。でも、そんなぎこちなさは、その女子たちにも伝わっていたようで、「なにかへんやなあ」という思いを抱きながらクラスの活動などをいっしょにしていたのですが、同性愛の男子学生は、しだいに「本当のことを言いたい」と思うようになりました。言ったからといって、その同級生の女子たちとの関係がまぶくなるようには思えなかったのです。言わずにいられなくなったある日、彼は自分が同性愛者であることを告げました。すると女子たちは、「なんや。そうやったんか。それでよーくわかったわ」と、それから恋愛についての話をはじめ、いろいろなことを前以上に率直に話しあえるようになりました。

受け止める側の姿勢や誠実さによって、カミングアウトした人の暮らしやすさはまったく違ってきます。両者の関係も、豊かで深まりを見せるようになります。カミングアウトとは、そういう新しい関係が生まれる可能性を秘めています。両者の努力と誠実さによって、そうなるかどうかは左右されるのです。ぜひカミングアウトする側としても、カミングアウトを受け止める側としても、もしもそのような場面に出会うなら、プラスになるように活かしてほしいものです。

社会のさまざまなところでそのようなカミングアウトの波紋が広がっていくことにより、社会が変わっていく可能性も広がっていきます。私たち1人ひとりのカミングアウトとは、社会に投げかけられた小石のようなものかもしれませんが、しかし、1つひとつの小石は、湖に波紋を広げるとともに、湖の底におちるまでに魚のそばを通り、水草に絡まりながら底へと近づき、水底にたどり着いたときには細かい粒子をふわりと立ち上がらせて自分の居場所を定めます。カミングアウトは、いわば社会という湖に投げかけられた小石です。自分の周りでカミングアウトがあったときや、自分自身がカミングアウトしたときには、それが社会全体に広げる波紋を期待するとともに、しるべき深みにまでつながるものとして受け止めあいたいものです。その経験の蓄積が社会を変えるところへとつながるはずで

-
- ※1 アイデンティティという概念については、鑓幹八郎著『アイデンティティの心理』（講談社新書、1990年）、E・H・エリクソン著、西平直・中島由恵訳『アイデンティティとライフサイクル』（誠信書房、2011年）などを参照。
 - ※2 ロバート・コールズ著『エリク・エリクソンの研究』（ペリカン社、1980年）など参照。
 - ※3 中側福督著『親の思い子の思い』（明治図書、1982年）、森 実「人権意識の形成と教育の課題」（中野陸夫監修、中尾健次・森 実編『同和教育の理論』（有信堂、1987年、78-119頁）などを参照。
 - ※4 アメリカにおいても、民族と関連してカミングアウトの問題はあった。たとえば、アメリカでは少しでも黒人が先祖にいれば黒人と見なされた。そのため、白人と思いきこんでいた人のきょうだいとして肌の色の黒い人が訪れたために、その人の人種帰属が明らかになった例などがある。また、歌手や俳優のなかには、みずからの民族性を隠すために、芸名として本来の民族性を連想させない名前をつけた人が少なからずいる。
 - ※5 さまざまな性的マイノリティの置かれた状況については、セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク編著『セクシュアルマイノリティ』（明石書店、2003年）などを参照。

ご感想・ご意見をお寄せください

FAX06-6210-9286

大阪府府民文化部人権室

人権学習シリーズvol.8 『わたしを生きるーアイデンティティと尊厳ー』

冊子のご活用ありがとうございました。

今後の事業の参考にさせていただくために、以下の質問にお答えください。

(1)この冊子は、どのような場で使われましたか？

(2)この冊子をお使いになった感想やご意見をお書きください。

ご協力ありがとうございました。

■ 人権学習シリーズの紹介

人権学習シリーズvol.1～vol.7及び入門ガイドは、人権について学び、考えるための教材として、下記の通り刊行されています。本人権学習シリーズvol.8と併せてご活用ください。



人権学習シリーズvol.1
『結婚?幸せ』



人権学習シリーズvol.2
『働く』



人権学習シリーズvol.3
『暮らす』



人権学習シリーズvol.4
『ちがいのとびら-多様性と受容-』



人権学習シリーズvol.5
『ぶつかる力 ひきあう力-対立と解決-』



人権学習シリーズvol.6
『同じをこえて-差別と平等-』



人権学習シリーズvol.7
『みえない力-つくりかえる構造-』



人権学習シリーズ入門ガイド
『初めてのファシリテーター』

■ 作成委員会 委員

い ほん み
李 福美

(一般財団法人八尾市人権協会)

井元 哲也

(ROS、QWRC<<おーく>>)

栗本 敦子

(Facilitator's LABO<えふらぼ>)

柴原 浩嗣

(財団法人大阪府人権協会)

事務局 財団法人大阪府人権協会

発行日 2012年3月発行
編集 財団法人大阪府人権協会
〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階
TEL 06-6581-8613 FAX 06-6581-8614
URL <http://www.jinken-osaka.jp/>
E-mail info@jinken-osaka.jp

発行 大阪府府民文化部人権室
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎38階
TEL 06-6210-9281 FAX 06-6210-9286
URL <http://www.pref.osaka.jp/jinken/>



編集 ● 財団法人大阪府人権協会

発行 ● 大阪府府民文化部人権室